DENON

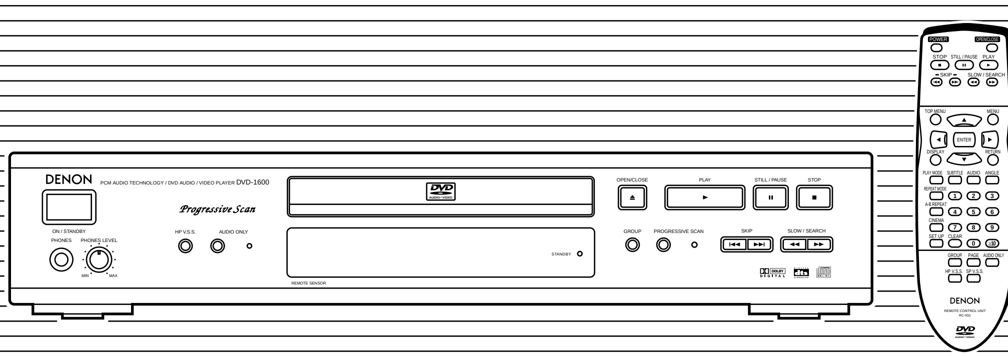
DVD オーディオ/ビデオプレーヤー

DVD-1600

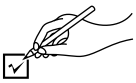
取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

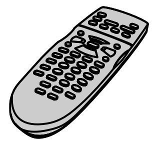
- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。



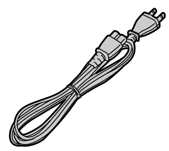
付属品のご確認


付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

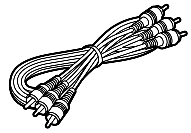
□ **リモコン（1 個）**



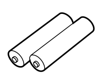
□ **電源コード（1 本）**



□ **音声／映像コード（1 本）**



□ **リモコン用乾電池（2 本）**



お願い
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

もくじ

準備
使いかた
ご参考

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

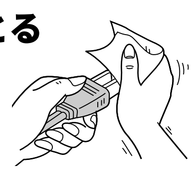
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

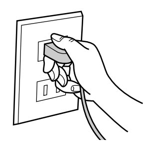
- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



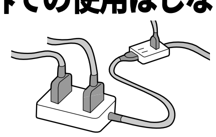
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

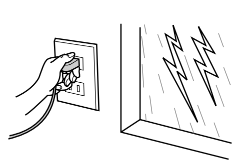
分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

接触禁止



- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

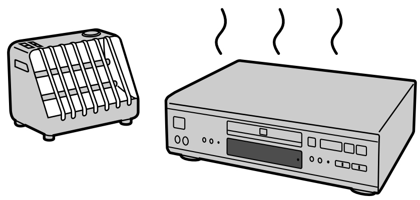
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

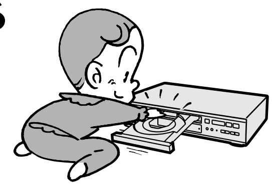


- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する



指に注意



- 閉まるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使わないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池は使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

ディスクについて

再生できるディスク

名称	ロゴマーク	映像方式	本書内マーク
DVD オーディオ	DVD AUDIO	NTSC (PAL は音声のみ)	DVD-A
DVD ビデオ	DVD VIDEO	NTSC	DVD-V
DVD-R	DVD R R4.7	NTSC	
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	NTSC	VCD
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		※ CD

※MP3 を含む

■ DVD ビデオディスク

発売地域ごとに割り当てられた**リージョン番号**が付与されています。

- 本機のリージョン番号は「2」です。
- 「2」（または「2」を含むもの）もしくは、「ALL」が表示された DVD ビデオが再生できます。

2　1 2 4　ALL　など

■ DVD-R ディスク

DVD レコーダーで録画しファイナライズした DVD-R は「DVD ビデオ」として再生できます。ただし、使用するレコーダーやディスクおよび記録状態により、再生できない場合があります。

■ CD-R/CD-RW ディスク

本機は、CD-DA フォーマットまたは、ビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※再生対応機器で再生できるよう処理すること。

お知らせ

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD の中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。

■ ジャケット上のマークについて

（以下は一例です）

- **音声数**　2
- **字幕数**　2
- **アングル数**　3

（数字は収録されている音声／字幕／アングルの数を示します。）

- **記録されている音声の種類**

  本機はドルビーデジタル／DTS デコーダーを内蔵しているので右記ロゴのついたディスクの再生が可能です。

  DOLBY DIGITAL　DIGITAL dts SURROUND

- **画面サイズ（横：縦）**

4:3	**４：３の標準サイズ**
LB	**レターボックス** （４：３で上下に黒帯が入っている画面）
16:9 LB	**16：９のワイドサイズ** 標準サイズのテレビではレターボックスで再生される。
16:9 PS	**16：９のワイドサイズ** 標準サイズのテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される。

映像の見え方は、テレビ側の設定によっても異なります。

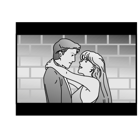
お知らせ

- DVD ビデオは、一般的にワイドテレビ画面（画面の横縦比は 16：9）での再生を想定して作られています。そのため、ワイドテレビでは記録されたイメージ通りの映像を見ることができますが、４：３のテレビ画面では 16：９の映像が収まらなくなります。この問題を解決するための映像方式がパン＆スキャン、あるいはレターボックスと呼ばれるものです。

－パン＆スキャン
映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



－レターボックス
画面の上下に黒い帯を入れて、４：３の画面で 16：９の映像を再現します。



４：３で記録された映像を、ワイドテレビ画面（16：９）でプログレッシブ再生表示するとき（０9ページ）

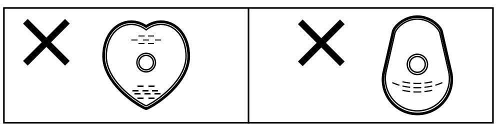
再生できないディスク

- リージョン番号**「2」「ALL」以外の** DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク
（DVD オーディオの音声部分は再生できます。）
- DVD-RAM
- DVD-ROM
- ＋ RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- CVD
- SVCD
- SACD
- フォト CD

など

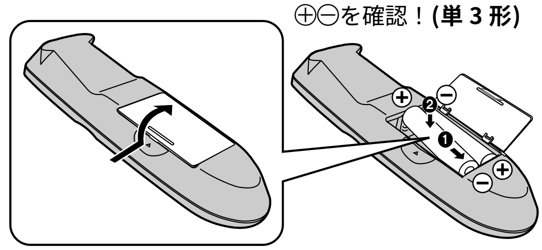
お願い

ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります。）

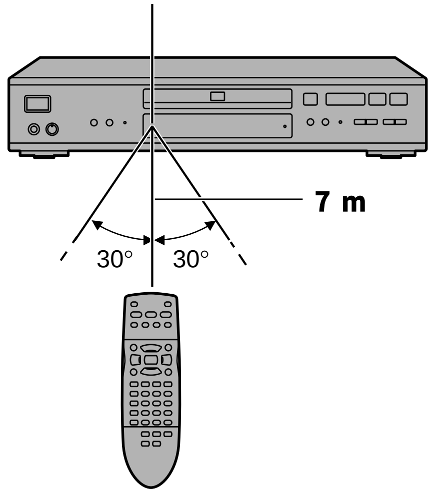


リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる



リモコンの使用範囲



お願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。
- 受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

テレビと接続する

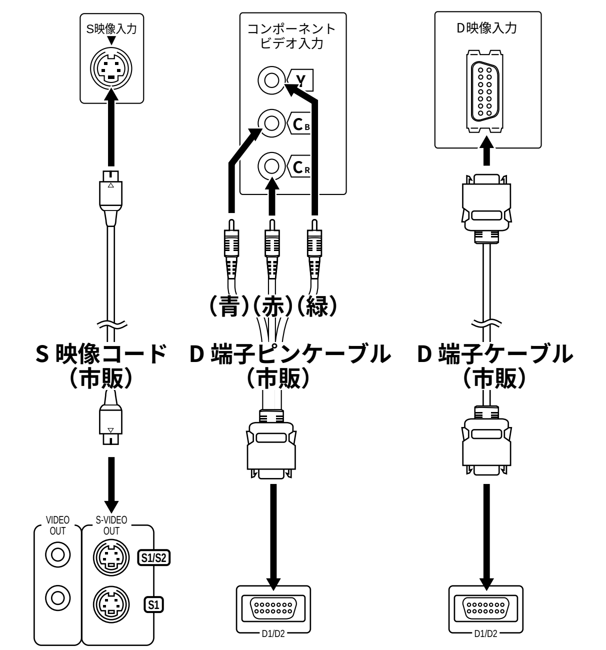
工場出荷時のスピーカー設定は、「6 本のスピーカーを接続する」ことを前提としていますが、ここではテレビのスピーカーでお手軽に音声を楽しむ接続方法を紹介します。DVD を 5.1ch などの迫力ある音声で楽しむには、AV アンプと 6 本のスピーカーを接続することをおすすめします（接続方法などの詳細は、26 ページからの説明をご覧ください)。

お願い

- 本機とテレビの電源を切ってください。またテレビの説明書もご参照ください。
- 本機をアンプなど高温になる機器の上に置かないでください。
- コードの色をご確認の上、正しく接続してください。

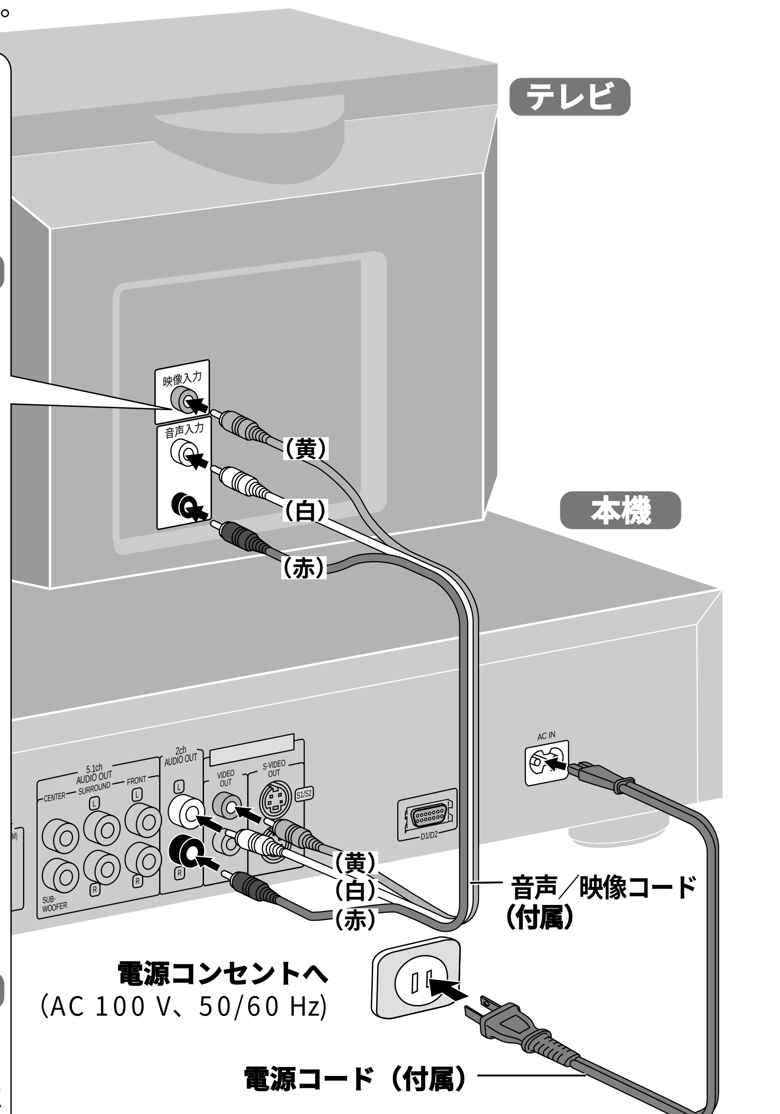
下記の映像入力端子を持つテレビに接続する場合は、映像コード（黄）のかわりに下記のいずれかの接続で、より鮮明な画像を得られます。すべての端子がテレビに付いている場合は「Q & A」(０ 36 ページ）をご参照ください。(下図は一例です。)

テレビ側の入力端子



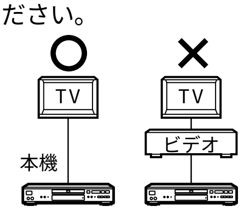
本機側の出力端子

- **D1 ／ D2 映像出力端子：**プログレッシブ映像出力に対応。本機のコピーガードシステムに適合した 525p 映像入力端子付テレビに接続すると、プログレッシブ映像が楽しめます。(プログレッシブ出力への切り換え ０ 10 ページ)
- **S1 映像出力端子：** 4 ： 3 に圧縮されたワイドソフトを自動的に 16 ： 9 のサイズに戻して映します。
  - テレビの S2 映像入力端子と接続する場合、本機の S1/S2 映像出力端子を使用してください。
- **S1/S2 映像出力端子：** S1 の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。
  - この端子を使用する場合、初期設定「映像」の " S 端子出力 S1/S2 のモード " を " S2 " に設定してください。(０ 30 ページ)



お願い

- テレビのスピーカーで音声を聞く場合は、各端子専用の音声入力端子に音声／映像コードを接続してください。
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**テレビと本機の間にビデオテープレコーダーや AV セレクターを接続すると、著作権保護の影響により、再生時に画面が乱れることがあります。



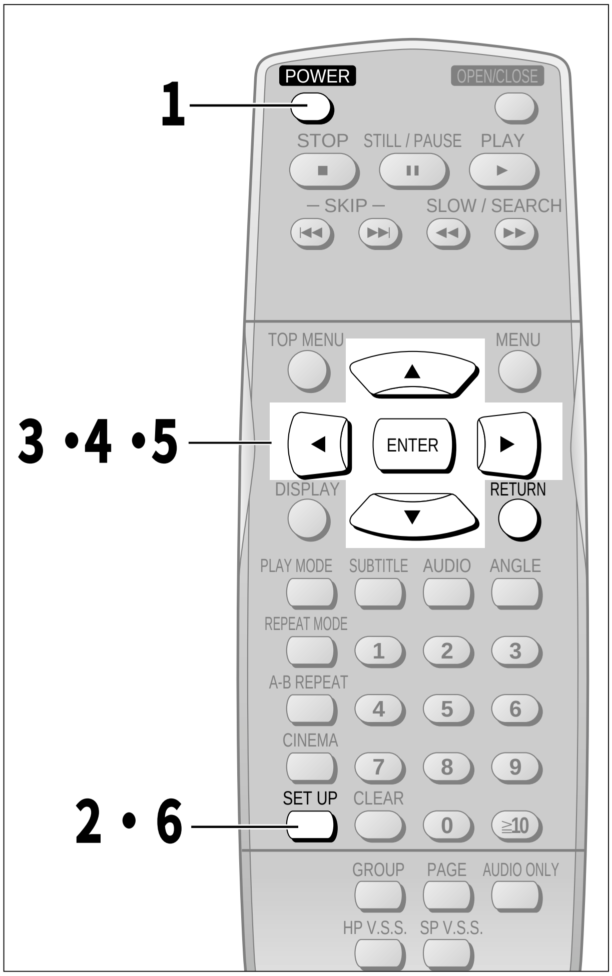
- テレビに接続するときは、以下の端子には接続しないでください。接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。
  - DVD に対応していないハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子
  - 本機のコピーガードシステムに対応していない 525p 映像入力端子

テレビに合わせて設定する

お手持ちのテレビやお好みに合わせて設定を変えることができます。

準　備

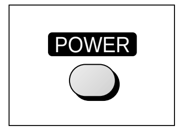
テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ 1」など）を切り換える。



お知らせ

- 従来の映像信号（NTSC）は 525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その 525i 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。
- DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。
  - 標準サイズ（4 ： 3）のテレビへの表示方法は右記の設定で選べます。
  - **4 ： 3 で記録された映像を、ワイドテレビ画面（16 ： 9）でプログレッシブ再生表示するとき**
    プログレッシブ出力時、本機では、4 ： 3 サイズの映像を左右に引きのばし、ワイドテレビ画面（16 ： 9）いっぱいに映し出します。
    テレビ側で映像の横縦比を変更できる場合は、テレビ側で正しい横縦比に設定してください。
    テレビ側で変更できない場合は、[PROGRESSIVE SCAN]を押し、プログレッシブ出力ランプを消灯させてください。インターレース出力となり、本来の 4 ： 3 サイズで表示されます。

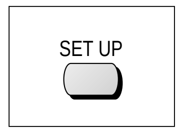
1 （リモコン）



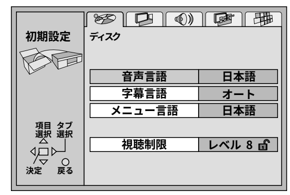
押す

本体の電源が入ります。

2

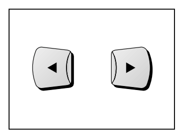


押す



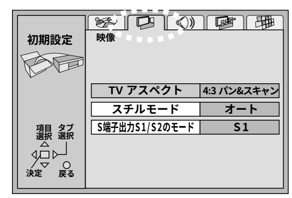
初期設定画面が表示されます。

3

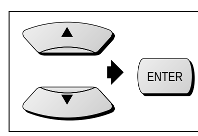


押して

“映像”タブを選ぶ



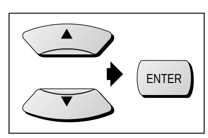
4



押して

“TV アスペクト”を選ぶ

5



押して

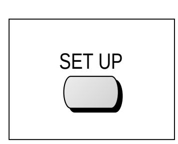
テレビ画面の横縦比を選ぶ

- **4 ： 3 パン＆スキャン（工場出荷時）**
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズのソフトをパン＆スキャン※（０６ページ）で映したいとき］
- **4 ： 3 レターボックス**
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズのソフトをレターボックス（０６ページ）で映したいとき］
- **16 ： 9**
  ワイドサイズのテレビ

※ワイドサイズ（16 ： 9）のソフトの中には、この設定にかかわらず、レターボックスでしか映らないものもあります。

手順 3 の画面に戻ります。

6



押す

設定が終了します。

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]を押す

ディスクを再生する

1 ON / STANDBY 押して 電源を入れる

プログレッシブ出力で再生するには

本体の**[PROGRESSIVE SCAN]** ボタンを押してランプを点灯させる

PROGRESSIVE SCAN

2 OPEN/CLOSE 押して トレイを開け、ディスクをおく

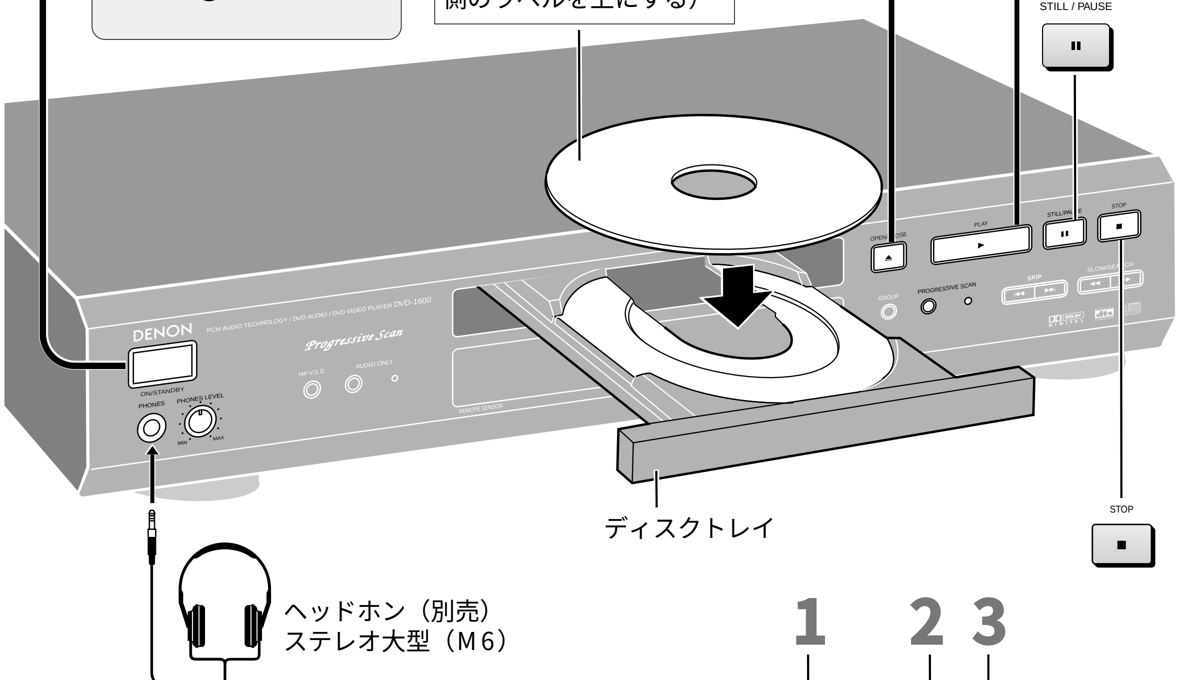
ラベルを上にする（両面ディスクでは再生したい側のラベルを上にする）

3 PLAY 押す

トレイが閉まり、再生が始まります。

表示窓（例： DVD ビデオの場合）





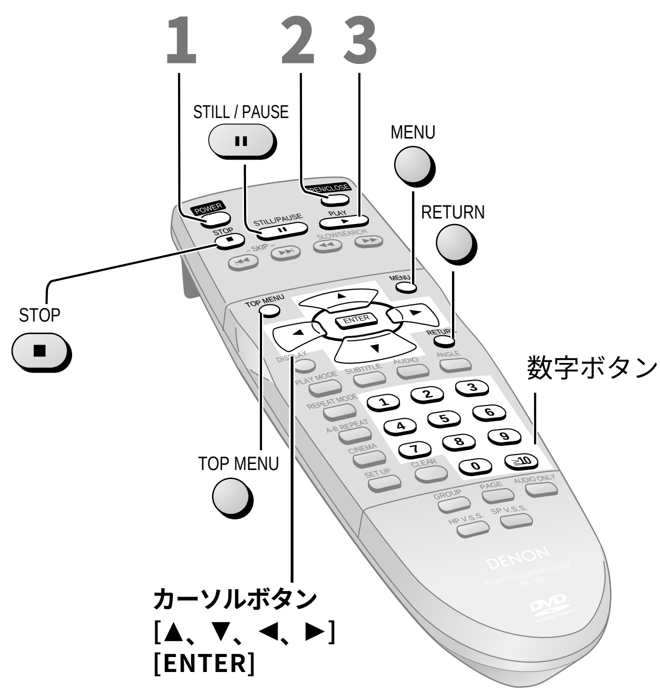
■ ヘッドホンで聴くには

1 **[PHONES LEVEL]** を " MIN "（最小）の位置まで回し、ヘッドホン（別売）を接続する

2 **[PHONES LEVEL]** を回して音量を調節する

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

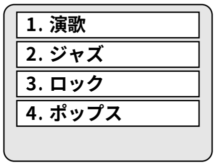


カーソルボタン
[▲、▼、◀、▶]
[ENTER]

メニュー画面を表示したときは

DVD-A　DVD-V　VCD

例）



数字ボタンを押して項目を選ぶ

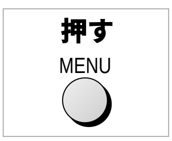
- ２ケタの数字を入力するには
  例）23 を入力する
  [≧10] を押し、**[2]**、**[3]** と続けて押す
- DVD の場合、**カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］** で項目を選び、**[ENTER]** を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには　リモコン

DVD-A　DVD-V　再生中



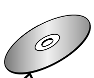
DVD-V　再生中



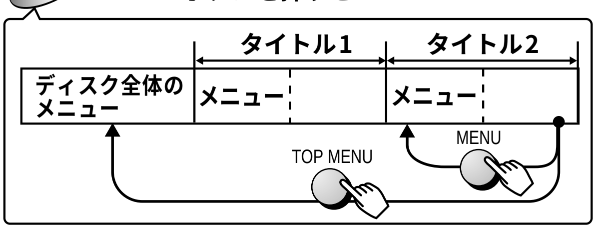
VCD　再生中



<複数のメニューを持つ DVD ビデオの場合>
[TOP MENU] と **[MENU]** を押したときでは、異なるメニューが表示される場合があります。



例）タイトル２再生中にそれぞれのボタンを押すと

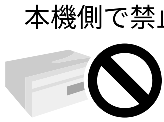


■“ $ ”がテレビ画面に表示されたときは

その操作はできません。

ディスク側で禁止　　本機側で禁止





お願い

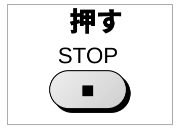
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付きなどを防止するため、続けて再生しないときは **[■]** を押して、再生を止めてください。
- DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**再生したときにテレビや AV アンプの音量を上げた場合は、** テレビ放送に切り換える前に **必ず元の音量に戻してください。** 突然大きな音が出ることがあります。

再生を止める

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

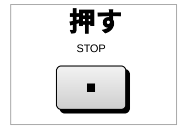
再生中

リモコン



または

本体

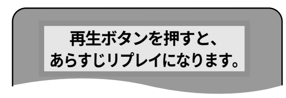




表示窓に“ ▷ ”が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。
（続き再生メモリー機能）

“ ▷ ”点滅中 **[▶]（PLAY）** を押すと、止めた位置から再生が始まります。

DVD ビデオの場合
さらに右の画面を表示



表示中に **[▶]（PLAY）** を押すと、再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を数秒再生した後、止めた位置から再生が始まります。（**あらすじリプレイ：** 同一タイトル内でのみ働きます。）
[▶]（PLAY） を押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリー機能を解除するには

表示窓の“ ▷ ”が消えるまで **[■]** を押す

お知らせ

- あらすじリプレイができないディスクもあります。
- **続き再生メモリー機能は**
  －電源を切っても働いています。
  －ディスクトレイを開けると解除されます。
  －再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

静止（一時停止）する

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中

リモコン



または

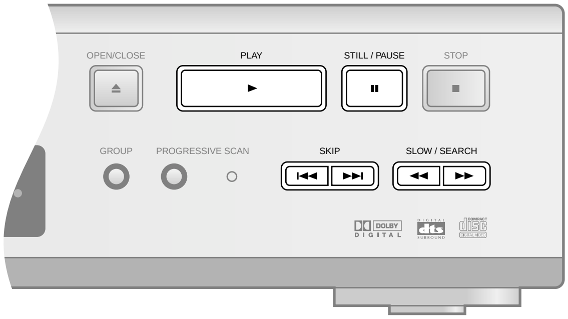
本体

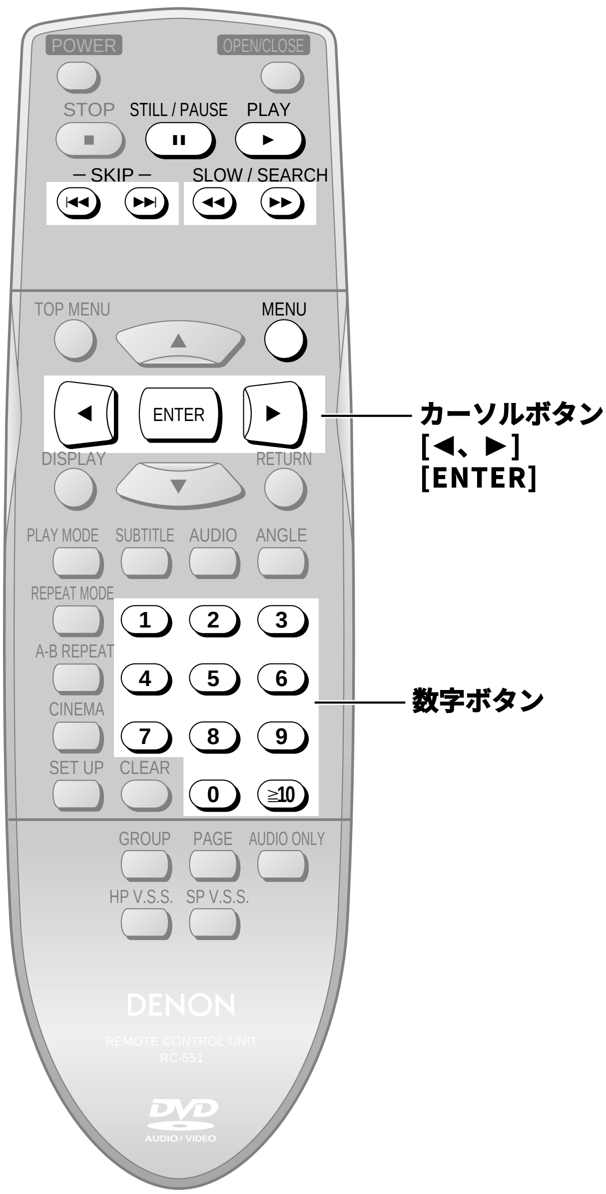


[▶]（PLAY） を押すと、通常再生に戻ります。

■節電のために

停止状態で約 30 分経過すると、自動的に電源が切れます（**オートパワーオフ**）。ただし、電源が切れた状態でも、約 2 W の電力を消費しています。
長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。





MP3を再生する

MPEG Audio Layer 3 (MPEG3)で圧縮された音楽データ(MP3)を再生できます。

■本機で再生可能なMP3ディスクを作成するには

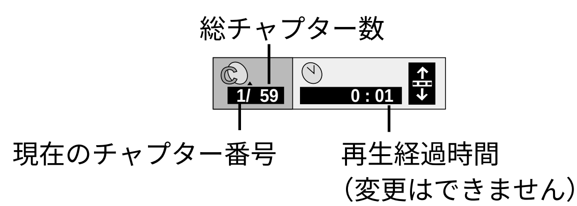
- 使用フォーマット：ISO9660 level 1 および level 2（拡張フォーマットを除く）
- ファイル名には必ず“.mp3”または“.MP3”の拡張子を付けてください。
- 好みの順に再生したいときは、ファイル名の先頭に再生したい順で数字を付けてください。ただし、ケタの違う数字を付けた場合や、作成するソフトウェアによって、順番通りに再生できないことがあります。

■ MP3で記録されたディスクとCDの違い

- **ディスクの構造**
  本機は、MP3のファイルをチャプター（曲）、フォルダ（アルバム）をタイトルとして扱います。
- **再生中の本体表示窓**



- **再生中のGUIバー（ディスク情報画面）**



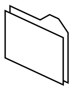
- **選んだ曲から再生**
  数字ボタンで再生したい曲を選び、**[ENTER]**を押す
  例）23：**[2]**）**[3]**）**[ENTER]**
  （**[≧10]**は不要です）
- **リピート再生**
  チャプター（曲）／タイトル（アルバム）のリピート再生ができます。
- **プログラム／ランダム再生はできません**

お知らせ

- 経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 同一ディスクにMP3とCD-DAの両方のフォーマットが記録されている場合、最初の曲に使用されているフォーマットのみが再生されます。
- 静止画データが入っていたり、フォルダ数が多い場合は、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。
- ファイルの拡張子が“.mp3”または“.MP3”でも実際にはMP3フォーマットでない場合は、ノイズが出ることがあります。
- 本機はID3タグやパケットライトには対応していません。

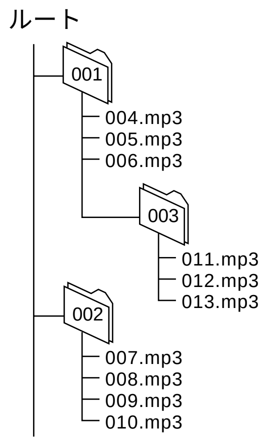
MP3 再生の順番

例：004.mp3 から
013.mp3 の順
に再生される場合



：フォルダ
（タイトル）

004.mp3－：ファイル
013.mp3　（チャプター）



場面・曲を飛びこす（スキップ）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中／静止（一時停止）中

リモコン



または

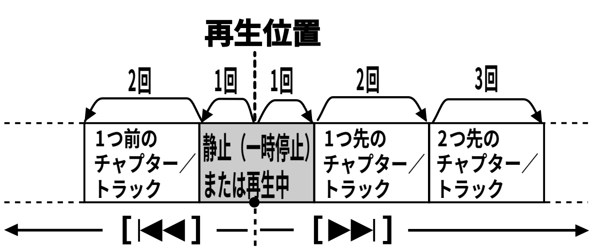
本体



[|◀◀]：戻る　**[▶▶|]**：進む

押した回数だけスキップします。

■ スキップの動作について



早送り・早戻しする

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中

リモコン



または

本体



[◀◀]：戻る　**[▶▶]**：進む

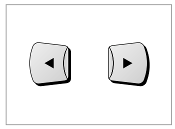
- **[▶]（PLAY）**を押すと、通常再生に戻ります。
- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- DVD オーディオ（動画部）、DVD ビデオ、ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。（「早送り時の音声」0 30 ページ）

コマ送り・コマ戻し

DVD-A　DVD-V　VCD

静止（一時停止）中

リモコン



押す

[◀]：戻る（DVD-A　DVD-V）

[▶]：進む

- **[▶]（PLAY）**を押すと、通常再生になります。
- 押すたびに 1 コマずつ送り（戻し）、押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
- **[❚❚]**を押してもコマ送りできます。
- DVD オーディオでは、動画部でのみコマ送り・コマ戻しできます。

スロー再生する

DVD-A　DVD-V　VCD

静止（一時停止）中

リモコン



または

本体



[◀◀]：戻る（DVD-A　DVD-V）

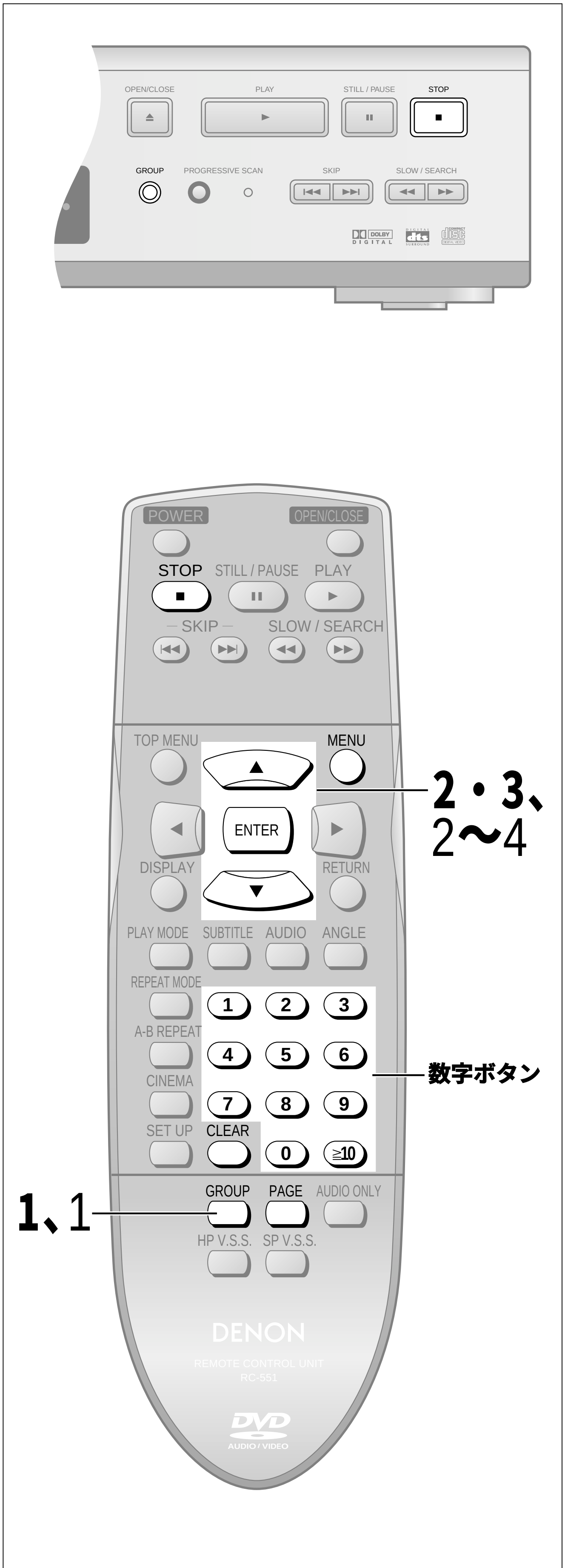
[▶▶]：進む

- **[▶]（PLAY）**を押すと、通常再生になります。
- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- DVD オーディオでは、動画部でのみスロー再生ができます。

■ PBC 付ビデオ CD の早送り／早戻し、スロー再生、スキップについて

メニュー再生中は、[|◀◀、▶▶|]、[◀◀、▶▶] を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

ディスクを再生する（つづき）



静止画を選ぶ（ページスキップ）

DVD-A

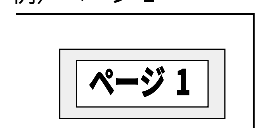
静止画付きの DVD オーディオでは、お好みの画像を選ぶことができます。

再生中

リモコン



例）ページ 1

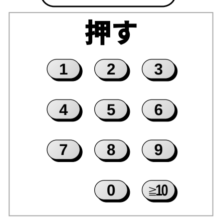


押すたびにページが切り換わります。

場面・曲を番号指定で再生する

DVD-A **DVD-V** **VCD** **CD**

リモコン



選んだタイトル／トラックから再生が始まります。（PBC 付ビデオ CD の場合 0 下記※）

- **2 ケタの数字を入力するには**
  例）23 を入力する
  [≧10] を押し、**[2]**、**[3]** と続けて押す

- DVD オーディオの場合、別グループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を指定してください。（0 15 ページ）
- 停止中でのみ働くディスクもあります。
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

※ PBC 付ビデオ CD の場合

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の“ **PBC PLAY** ”が消えるまで **[■]**を押す

2 **数字ボタン**を押す

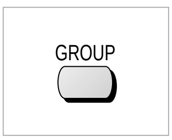
- メニュー再生に戻すには、**[■]**を押したあと **[MENU]**を押してください。
  表示窓に **“ PBC PLAY ”** が点灯します。

グループを選んで再生する

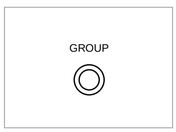
DVD-A

グループについて
DVD オーディオの曲構成はグループ単位で分かれています。
各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクのジャケットなどをご参照ください。

1 リモコン　本体



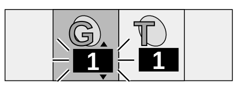
または



押して

グループ番号を選ぶ

押すたびにグループ番号が変わります。



2 **[ENTER]を押す**

3 **数字ボタンで**

トラックを選び、[ENTER]を押す

選んだグループのトラックが再生されます。

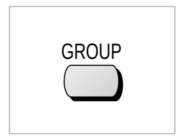
お知らせ
再生状態によっては、グループが選べないこともあります。

■ 全グループを再生するには（0 17 ページ）

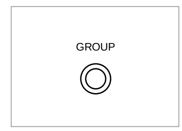
ボーナスグループを再生する

ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生が可能になる「ボーナスグループ」を収録したものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

1 リモコン　本体



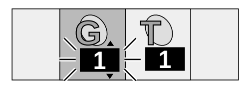
または



押して

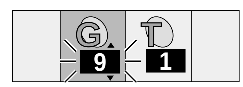
ボーナスグループを選ぶ

押すたびにグループ番号が変わります。



2 **[ENTER]を押す**

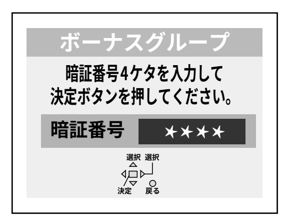
例）グループ 9 の中にボーナスグループが入っているとき



3 **数字ボタンで**

暗証番号（4 ケタ）を入力し、[ENTER]を押す

- 入力中に暗証番号を間違えた場合は、リモコンの［CLEAR］を押してください。一ケタずつ消すことができます。



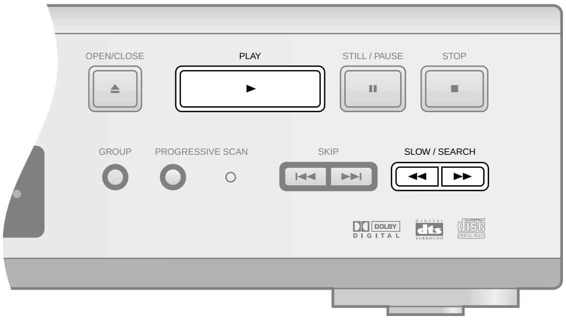
4 **数字ボタンで**

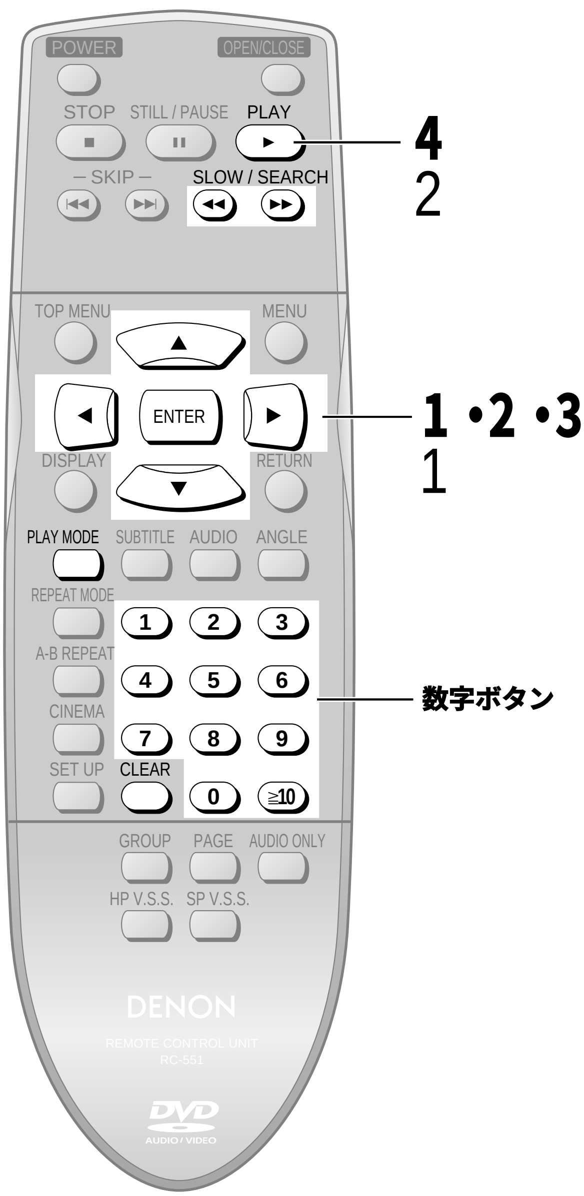
トラックを選び、[ENTER]を押す

- メニュー画面で暗証番号を入力する場合もあります。そのときは画面の指示に従ってください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで何度も再生できます。

お知らせ
暗証番号を間違えて入力した場合は、元の画面に戻ります。もう一度最初から行ってください。

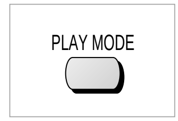
いろいろな再生を楽しむ





停止中

リモコン



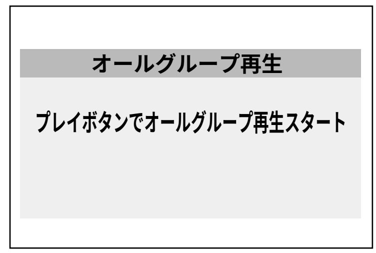
押して

再生の種類を切り換える

ボタンを押すたびに切り換わります。

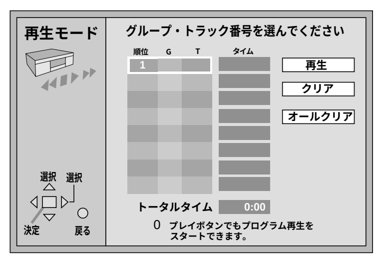
例）DVD オーディオの場合

A オールグループ再生画面：



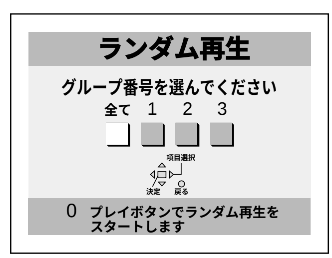
全てのグループを順に再生する

B プログラム画面：



好みの順に再生する（最大 32 トラック）

C ランダム再生画面：



順不同に再生する

通常再生に戻る

それぞれの画面を表示して 17 ページの操作を行うと、選んだ再生モードで再生が始まります。

お知らせ

プログラム／ランダム画面で DVD オーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号（4 ケタ）を入力してください。（0 15 ページ）

A 全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）

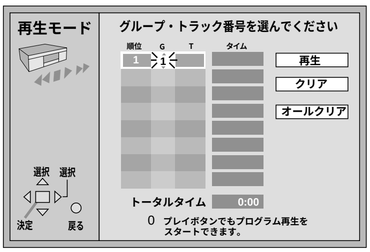
DVD-A （リモコン） **[▶]（PLAY）を押す**

B 好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-A VCD CD

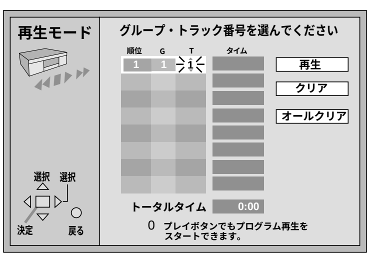
1 （リモコン）
[ENTER]を押す

例）DVD
オーディオ

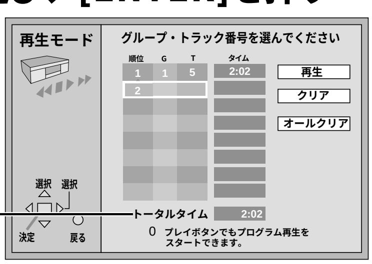


2 （DVD オーディオのみ）

カーソルボタン[▲、▼]で
グループを選び、[ENTER]を押す



3 **カーソルボタン[▲、▼]で**
トラックを選び、[ENTER]を押す



予約の合計時間を表示



グループ番号　トラック番号　予約順

- **カーソルボタン[▲、▼]**を押すたびに

1 ,---------. 2 , - - - - - - - - - - - - . ALL（全曲予約）
^--J

必要なだけ手順 1 ～ 3 を繰り返してください。

- " ALL " を選ぶと全曲（DVD オーディオの場合はグループ内の全曲）が予約されます。

4 **[▶]（PLAY）を押す**

お知らせ

- **数字ボタン**でグループやトラックを選ぶこともできます。
- 予約は、電源を切るかディスクトレイを開けるまで保持されます。

■ 予約内容を変更するには

<予約を追加・変更する>

1 カーソルボタン[▲、▼]で項目（順位）を選ぶ
2 手順 **1** から **3** の操作を繰り返す

<プログラム画面のページを前後に移動する>

[◀◀]または**[▶▶]**を押す

<予約を 1 つずつ取消す>

1 カーソルボタン［▲、▼］で取消す項目（順位）を選ぶ
2 [CLEAR]を押す
- **カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］**で **" クリア "** を選び**[ENTER]**を押しても取消せます。

<予約を全て取消す>

1 カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］で **" オールクリア "** を選ぶ
2 [ENTER]を押す

C 順不同に再生する（ランダム再生）

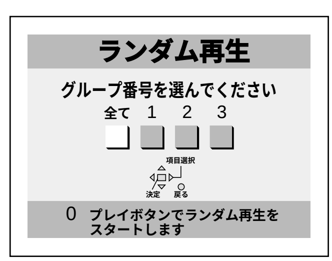
DVD-A VCD CD

1 （リモコン）

（DVD オーディオのみ）

カーソルボタン[◀、▶]で
グループを選び、[ENTER]を押す

例）DVD オーディオ
（グループが 3 まであるディスク）



- 複数選べます。
- **数字ボタン**で選ぶこともできます。

2 **[▶]（PLAY）を押す**

■ 選んだグループを取消すには DVD-A

取消すグループを選び、**[ENTER]**を押す





数字ボタン

バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ（V.S.S.）

DVD-V **VCD**

スピーカー V.S.S.：ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク
ヘッドホン V.S.S.：ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク

音に広がりを与え、フロントスピーカー（L／R）やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

準備

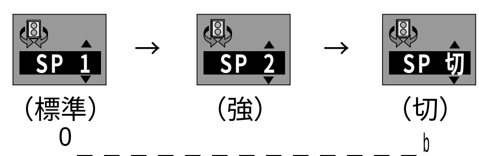
接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

再生中

リモコン		リモコン	本体
押す SP V.S.S.	または	押す HP V.S.S.	押す HP V.S.S.
スピーカー V.S.S.		**ヘッドホン V.S.S.**	

押すたびにレベルが切り換わります。

例）スピーカー V.S.S.の場合



（標準）→（強）→（切）

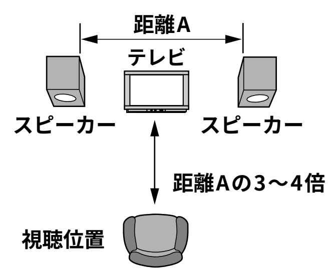
お願い

音声がひずむ場合は**「切」**にしてください。

お知らせ

- レベルを「1」や「2」に設定しても、ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- バーチャルサラウンドサウンドが働いているときはフロントスピーカーからしか音声は出力されません。

バーチャルサラウンドサウンドの効果的な視聴位置



<テレビのスピーカーを使う場合>
テレビの横幅=距離A

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

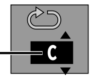
再生中

（リモコン）

押す
REPEAT MODE

ボタンを押すたびに切り換わります。

例）
DVD ビデオ



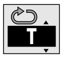
- **DVD オーディオ**
  T　：トラック
  G※1：グループ全体
  切　：通常再生
- **DVD ビデオ**
  C：チャプター
  T：タイトル全体
  切：通常再生
- **ビデオ CD※2／CD**
  T：トラック
  A：オール (ディスク全体)
  切：通常再生

※ 1 DVD オーディオのオールグループ／プログラム／ランダム再生時は“ G ”ではなく“ A ”と表示されます。

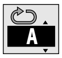
※ 2 **PBC 付ビデオ CD の場合**
メニュー再生を解除してから操作してください。
1 再生中、表示窓の **“ PBC PLAY ”** が消えるまで **[■]** を押す
2 数字ボタンでトラックを選び再生を始める
3 [REPEAT MODE] を押す
- メニュー再生に戻すには、**[■]** を押したあと **[MENU]** を押してください。表示窓に **“ PBC PLAY ”** が点灯します。

■ お好みのトラックをリピート再生するには
（プログラムリピート再生） DVD-A　VCD　CD

1 お好みのトラックを予約する（０ 17 ページ）
2 プログラム再生中に **[REPEAT MODE]** を押し、



または



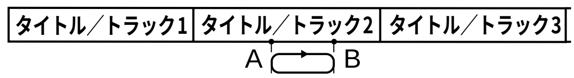
を表示する

好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

同一タイトル、トラック内でお好みの 2 点（A 点と B 点）を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

例）

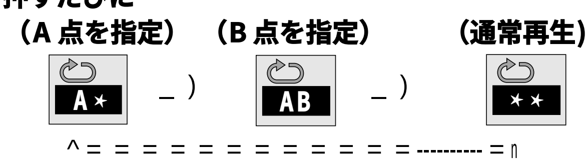


再生中

（リモコン）

押す
A-B REPEAT

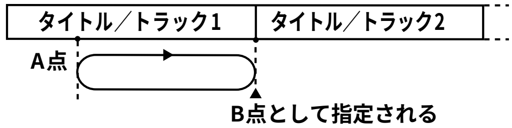
押すたびに



B 点を指定すると、A-B リピート再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート／ A-B リピート再生が働かないものもあります。
- ディスク全体の繰り返し（DVD ビデオ）はできません。
- A-B リピート再生の B 点を指定する前にタイトル／トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。



- A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。

映画や音楽を楽しむ



より高音質で聴く（AUDIO ONLY）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

リモコン		本体
押す AUDIO ONLY	または	押す AUDIO ONLY

本体のAUDIO ONLYランプが点灯します。

- 再度、ボタンを押すか、電源を切ると解除されます。（AUDIO ONLYランプが消灯します。）

■ オーディオオンリー機能について

停止時や早送りなどの操作時は、映像信号が送られます。それ以外は、映像信号が出ないためテレビ画面は少し乱れた状態になります。

映画鑑賞向けの画質にする（CINEMA）

DVD-A　DVD-V　VCD

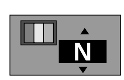
映画ソフトに最適な画質を設定することができます。

リモコン

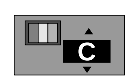
押す CINEMA

表示窓の表示が点灯します。

押すたびに切り換わります。



< >



「通常の画質」

「映画鑑賞向けの画質」
ぎらつきを押さえしっとりとさせ、暗部の輪郭を見えやすくします。

- 「ユーザー画質」でさらに細かい設定（Contrast/Brightness/Color）をすることができます。設定方法は、「本機情報画面の表示例」の「映像設定」（0 25ページ）をご参照ください。

音声を切り換える

DVD-A　DVD-V

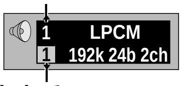
再生中

リモコン



例）DVD オーディオ

再生中の音声番号



選んだ音声番号

押すたびに切り換わります。
（音声が記録されていないときは“ — ”と表示）（「b 音声属性」 0 23 ページ）

- DVD オーディオでは、音声が切り換わると、静止画表示中に流れる音の先頭に戻ります。
- DVD オーディオの場合、通常、選んだ音声番号は2 つ目の音声がなくても番号 2 まで表示します。（再生中の音声番号は 1 のままです。）
- カラオケディスクでは、ボーカルの「入」「切」ができます。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

字幕言語を切り換える

DVD-A　DVD-V

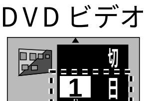
再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。（字幕が記録されていないときは“ — — ”と表示）（「a 音声／字幕言語」 0 23 ページ）

例）DVD ビデオ



字幕言語番号

- 変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

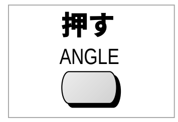
1 [SUBTITLE]を押す
2 カーソルボタン[▶]を押す
3 カーソルボタン[▲、▼]で「入」「切」を選ぶ

アングルを切り換える

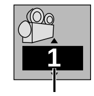
DVD-A　DVD-V

再生中

リモコン



押すたびに番号が切り換わります。



アングル番号

あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

■ 音声／字幕／アングルの画面表示を消すには
[RETURN]を押す

■ “ $ ”がテレビ画面に表示されたときは
ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため入力できません。

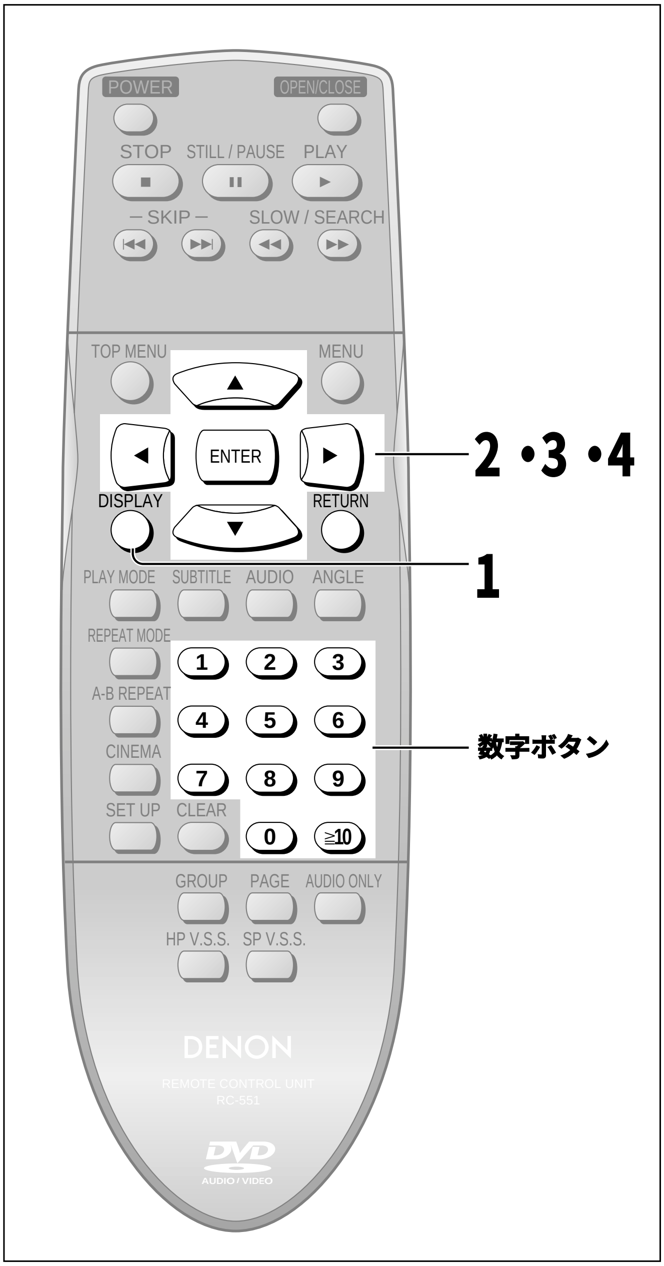
お知らせ

- **カーソルボタン [▲、▼]**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- アイコンの“ △、▽ ”マークは、**カーソルボタン [▲、▼]**で変更できることを示します。一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、“ △、▽ ”マークは表示されません。
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。（“ ディスク ” 0 30 ページ）

絵表示（GUI 画面）を使って操作する

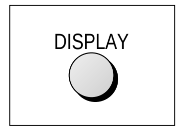
ジー・ユー・アイ　グラフィカル・ユーザー・インターフェース
ＧＵＩ（Graphical User Interface）とは

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する画面を「GUI 画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。



GUI 画面の操作方法

1 リモコン



押す

GUI 画面が表示されます。

- 押すたびに切り換わります。

例）DVD ビデオの場合

＜ディスク情報画面＞（０ 23 ページ）



＜本機情報画面＞（０ 24 ページ）



＜シャトル画面＞（０ 23 ページ）



GUI 表示なし

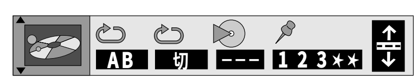
2（本機情報画面のみ）

カーソルボタン［◄、►］でハイライトを左端のアイコンに移動し、**カーソルボタン［▲、▼］で**

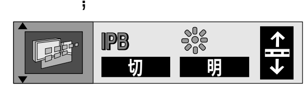
メニューを選ぶ

カーソルボタン[▲、▼]を押すたびに

再生設定



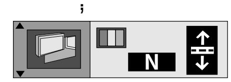
表示設定



音声設定



映像設定



3 カーソルボタン［◄、►］で

項目を選ぶ

内容については 23 〜 25 ページをご覧ください。
シャトル画面の場合、この手順は不要です。

4 カーソルボタン［▲、▼］で

内容を変更する

変更が実行されないときは、**[ENTER]**を押してください。

- **数字ボタン**で変更できるものもあります。

■ 画面表示を消すには

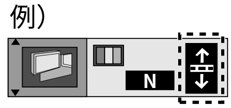
GUI 画面が消えるまで**[RETURN]**を押す

■ GUI 画面の位置を変えるには

1 カーソルボタン［◄、►］
で右端のアイコンを選ぶ

2 カーソルボタン［▲、▼］
で GUI 画面の位置を変える（5 段階）

例）



お知らせ

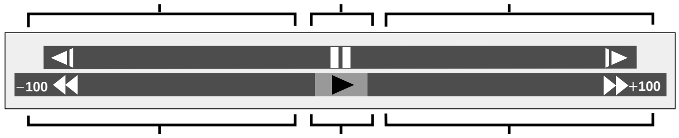
- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。

シャトル画面の表示例

スロー再生
◀❙：戻る（DVD-A DVD-V）

静止／
一時停止

スロー再生
❙▶：進む（DVD-A DVD-V VCD）



早戻し：◀◀　再生　早送り：▶▶

お知らせ

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は５段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによって操作できないものもあります。
- DVD オーディオのスロー再生は、動画部でのみ可能です。

ディスク情報画面の表示例

例）DVD ビデオの場合



アイコン	内容
G 2	**グループ番号** DVD-A
T 2	**タイトル番号** DVD-V **トラック番号** DVD-A VCD CD
C 2	**チャプター番号** DVD-V
1：46：50	**経過時間** DVD-A DVD-V **数字ボタン**で指定した時間から再生 例)1 時間 46 分 50 秒から再生するとき **[1]・[4]・[6]・[5]・[0]・[ENTER]** を押す
	時間表示 DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 トラックの経過時間 ↓ ディスク（グループ）の残り時間 ↓ トラックの残り時間
L R	**音声チャンネル** VCD チャンネルを選ぶとその音声で再生 **LR** → **L** → **R** (左右)　(左)　(右)
例）DVD ビデオ Digital 1 日 3/2.1 ch a　b	**音声番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとその音声で再生 a 番号に割り当てられた言語（➡ 右記 a） b 番号に割り当てられた音声属性（➡ 右記 b）
Vocal 1 ＊ 切	**カラオケボーカル「入」「切」** DVD-V（カラオケ DVD のみ） **ソロ**：切 ↔ 入 **デュエット**： 切 → V1＋V2 → V1 → V2

アイコン	内容
入 1 日	**字幕番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとその字幕を表示 （➡ 下記 a）
入 1 日	**字幕「入」「切」** 字幕を「入」「切」する
1	**アングル番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 入	**メニュー再生の「入」「切」表示** （PBC 付 VCD） 内容変更はできません
Page 1	**静止画番号** DVD-A 番号を選ぶとその画像で再生

a 音声／字幕言語

日：日本語	**伊**：イタリア語	**露**：ロシア語
英：英語	**西**：スペイン語	**韓**：韓国語
仏：フランス語	**蘭**：オランダ語	**＊**：その他
独：ドイツ語	**中**：中国語	

b 音声属性

LPCM/PPCM（パック PCM）/
Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
k (kHz)：サンプリング周波数
b (bit)：ビット数
ch：チャンネル数

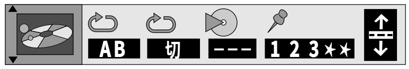
3／2.1

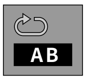
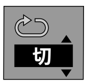
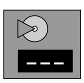
- .**1**：サブウーハーあり（サブウーハーがない場合は、表示されません）
- 2：
  - **0**：サラウンド信号なし
  - **1**：サラウンド信号（モノラル）あり
  - **2**：サラウンド信号（ステレオ）あり
- 3：
  - **1**：センター
  - **2**：フロント（L/R）
  - **3**：センター＋フロント（L/R）

使いかた

本機情報画面の表示例

再生設定

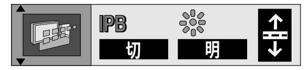


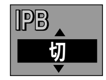
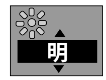
アイコン	内容
	**A-B リピート再生**（ 0 19 ページ） 再生中[ENTER]を押すたびに A 点を指定 ‥ B 点を指定 ‥ 通常再生 ^------------------------------------}
	**リピート再生**（ 0 19 ページ） DVD-A T（トラック）, . G※（グループ全体）, . 切（通常再生） ^------------------------------------J ※ オールグループ／プログラム／ランダム再生時は“ G ”ではなく“ A ”と表示されます。
	DVD-V C（チャプター）, . T（タイトル）, . 切（通常再生） ^------------------------------------J
	VCD CD T（トラック）, . A（ディスク全体）, . 切（通常再生） ^------------------------------------J
	**再生モード表示** DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 **RND**：ランダム再生 **PGM**：プログラム再生 **---**：通常再生 **ALL**：オールグループ（DVD-A）
	**マーカー** もう一度再生したいところにマークを付ける（最大 5 カ所） 再生中、[ENTER]を押す （マーカーアイコンが表示されます）
	● **マークを付けるには** マークを付けたいところで[ENTER]を押す
	● **複数のマークを付けるには** **カーソルボタン［▶］**を押し、マークを付けたいところで[ENTER]を押す
	● **マークを呼び出すには** **カーソルボタン[◀、▶]**でマーク番号を選び[ENTER]を押す
	● **マークを取消すには** **カーソルボタン[◀、▶]**でマーク番号を選び[CLEAR]を押す

■ マーカーについて

- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときはマーカー機能は働きません。
- 電源を切るか、ディスクトレイを開けるとマーカーは取り消されます。

表示設定



アイコン	内容
	**I/P/B 表示** DVD-V **「入」** ,----. **「切」** 静止画像の種類を表示する
	**FL ディマー** 本体表示窓の明るさを調節する **明**（------------------------------------）**暗** ^-. **オート(DVD-A DVD-V VCD)**※ ,J ※ 再生中には暗くなり、スロー再生、サーチ、一時停止などの操作をすると明るくなります。

■ I/P/B について

DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture ：共用データの基準として単独で記録されるフレーム

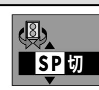
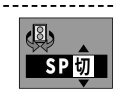
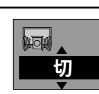
P-picture ：過去の I-picture、または P-picture を元につくられるフレーム

B-picture ：I/P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-picture の画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-picture で静止することをおすすめします。

音声設定



アイコン	内容
	**バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）** （ 0 18 ページ） DVD-V VCD ● **スピーカー V.S.S.(SP)** ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク ● **ヘッドホン V.S.S.(HP)** ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク
	**V.S.S.レベル** **1**：標準 **2**：強 **切**： V.S.S.解除
	**CINEMA VOICE MODE「入」「切」** DVD-V （ドルビーデジタル／ DTS、3ch 以上のディスク） 「入」を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる

映像設定

■プログレッシブ出力ランプ消灯時

アイコン	内容
	画質モード DVD-A DVD-V VCD **N** ：通常画質 **C** ：シネマ画質 （映画鑑賞に適した画質）（０ 20 ページ） **U** :ユーザー画質 ユーザー画質を選ぶと下記の項目も表示されます。 **■ 設定を変更するには** 1. **カーソルボタン[◀、▶]**で変更したい項目を選ぶ 2. **カーソルボタン[▲、▼]**で数値を変更する
	Contrast（－ 7 ～ ＋ 7） 映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける
	Brightness（0 ～ ＋ 15） 画面全体を明るくする
	Color（－ 7 ～ ＋ 7） 色の濃さを調節する

■プログレッシブ出力ランプ点灯時

アイコン	内容
	画質モード DVD-A DVD-V VCD **N** ：通常画質 **C** ：シネマ画質 （映画鑑賞に適した画質）（０ 20 ページ）
	Transfer MODE プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。 ●**Auto(標準):** 映画再生に適した変換 ●**Video :** ビデオ素材に適した変換
	Horizontal Position 画像の左右が切れる場合に横方向の位置を調節する アイコンを選び、 **1.** **数字ボタン[1]**を押す **2.** 左右の位置を調節する **数字ボタン[1]**：左へ移動 **数字ボタン[2]**：工場出荷時の設定に戻す **数字ボタン[3]**：右へ移動 ●電源を切っても設定は記憶されています。

■ フィルム素材／ビデオ素材について

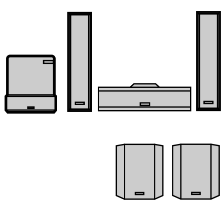
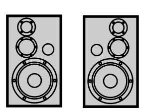
DVD ソフトの映像情報は、以下の 2 通りが一般的です。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが 24 コマ／秒で記録されているもの。
- **ビデオ素材**
  映像情報が 30 コマ／秒で記録されているもの。

本機は、映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを判別し、最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

より迫力ある音声で楽しむ

本機はドルビーデジタル／DTSデコーダーを内蔵しています。
別売のドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダーがなくても、AVアンプの5.1ch音声入力端子に接続すると、ドルビーデジタル／DTSで記録されたDVD再生時、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。**192 kHzや96 kHzの高音質を楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のかかったディスクでは、「PCMダウンサンプリング変換」を“する”に設定しないと音声がでません。**

こんなときは	こんな方法があります	参照ページ	設定内容	参照ページ
5.1chサラウンドを楽しむ 	**＜アナログ接続＞** AVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と接続する	27 A	**“スピーカー設定”⇒“マルチチャンネル”に設定**	33
	＜デジタル接続＞ AVアンプ（デコーダー内蔵タイプまたはデコーダーとAVアンプの組み合わせ）と接続する	27 B	**PCMダウンサンプリング変換/ Dolby Digital/DTS Digital Surround ⇒ 接続する機器に合わせて設定**	34
			スピーカーの設定は、AVアンプまたはデコーダーで行ってください。	—
2本のスピーカーでステレオサウンド/ドルビープロロジック※を楽しむ 	**＜アナログ接続＞** アナログアンプやミニコンポと接続する	28 C		
	＜デジタル接続＞ デジタルアンプやミニコンポと接続する	28 D	**PCMダウンサンプリング変換 ⇒ 接続する機器に合わせて設定** **Dolby Digital、DTS Digital Surround ⇒“PCM”に設定**	34

※ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには
C、またはDの接続機器の例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご覧ください。また、この場合スピーカーV.S.S.／ヘッドホンV.S.S.（0 18ページ）は「切」にしてください。「1」（標準）、「2」（強）に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

こんなこともできます

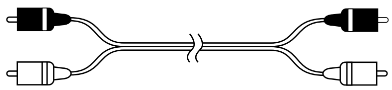
MDやカセットテープに録音する（0 28ページ）

お知らせ

- 機器との接続は一例です。
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご覧ください。

A AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と接続

音声コード(市販)

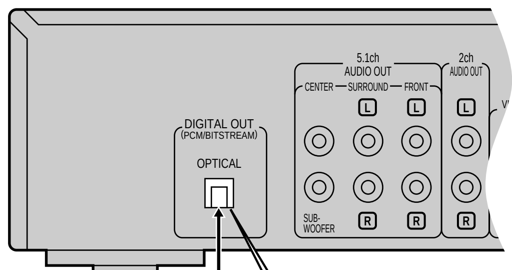


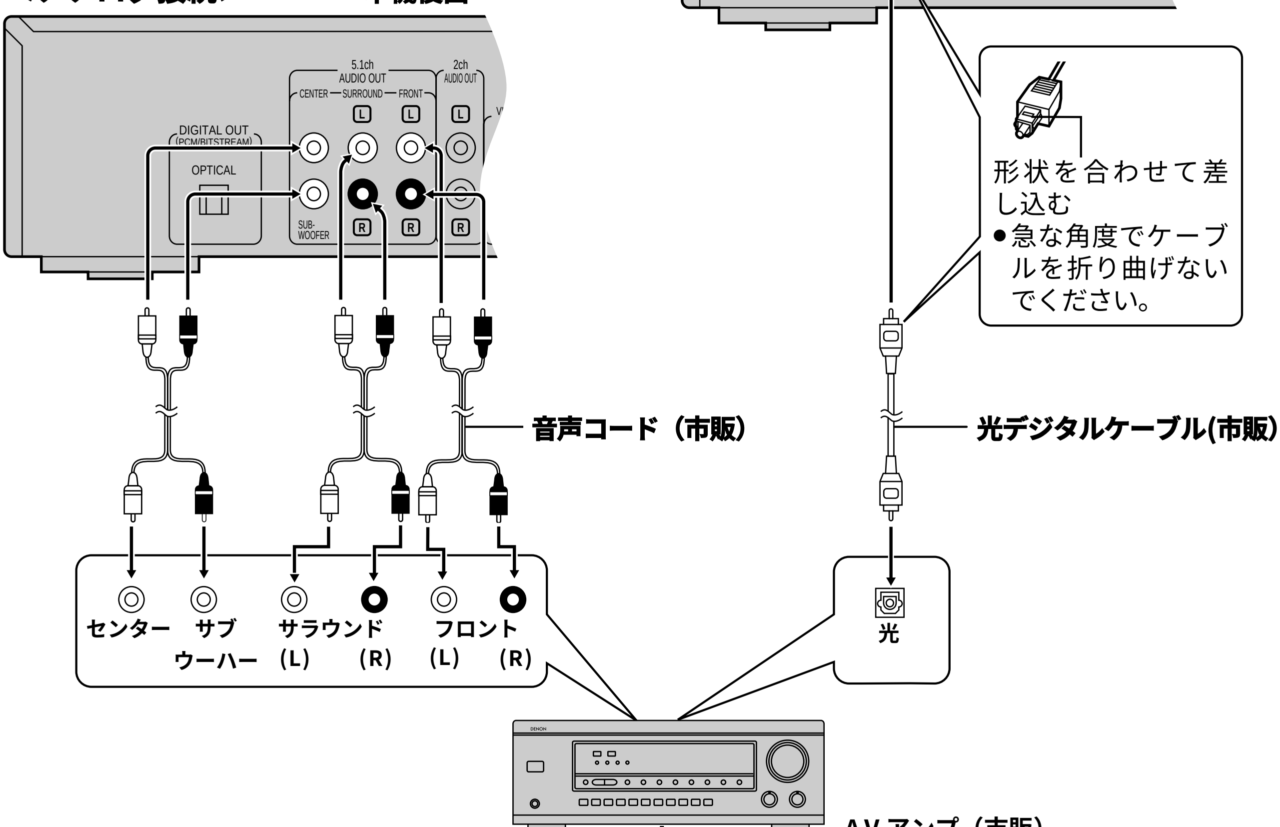
●接続するスピーカーに合わせて端子をよくご確認のうえ、正しく接続してください。

＜アナログ接続＞ **本機後面**

B デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー＋ AV アンプ）と接続

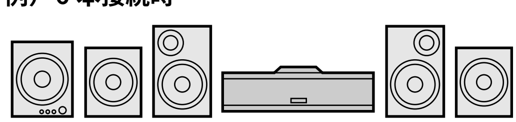
＜デジタル接続＞ **本機後面**





スピーカー（市販）
サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。

例）6 本接続時



● **『スピーカー設定』**（ 33 ページ）**を行ってください。**

● **『デジタル出力の設定』**（ 34 ページ）**を行ってください。**

スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.は**「切」**にしてください。**「1」**（標準）、**「2」**（強）に設定すると、フロント（L ／ R）以外のスピーカーから音が出ません。（ 18 ページ）

お知らせ

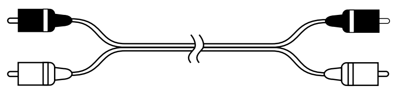
DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

C アナログ音響機器と接続

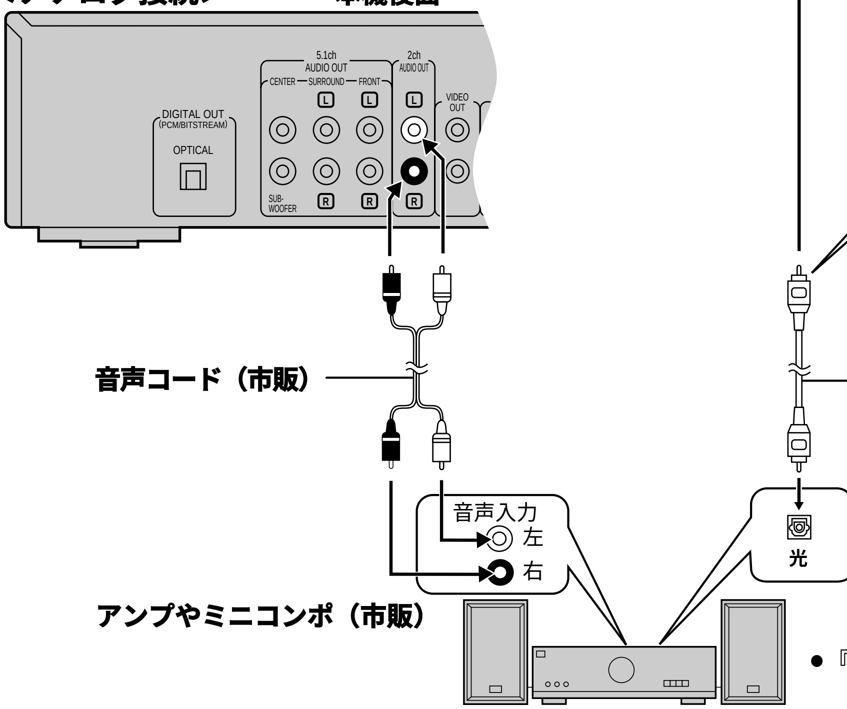
音声コード(市販)

赤（右/R）

白（左/L）

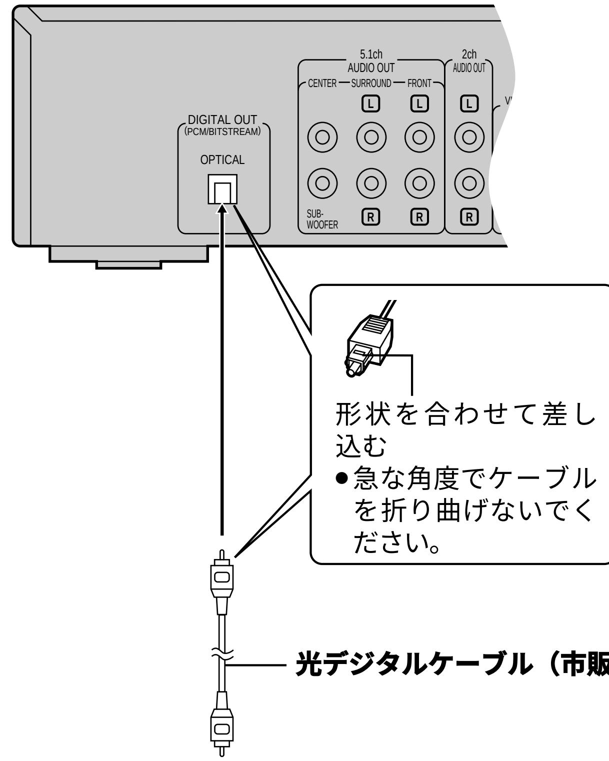


<アナログ接続>　本機後面



D デジタル音響機器と接続

<デジタル接続>　本機後面



● 『デジタル出力の設定』（0 34 ページ）を行ってください。

こんなこともできます　**～ MD やカセットテープに録音する～**

<アナログ録音する>

アナログ信号に変換された音声を、著作権保護の影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

音声コードを使って、本機を録音機器と接続する。（上記 C の接続）

<デジタル録音する>

デジタル信号のまま MD などに録音できます。

ただし全ての信号がリニア PCM48 kHz ／ 16 bit 以下に変換されます。また、DVD の場合、以下の条件が必要です。

●ディスクに著作権保護の処理がされていない。

●録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz ／ 16 bit に対応している。

1 光デジタルケーブルを使って、本機を録音機器と接続する。（上記 D の接続）

2 DVD の場合、以下の設定をする。

バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）：切（0 18 ページ）

PCM ダウンサンプリング変換　：する（0 30 ページ）

Dolby Digital/DTS Digital Surround ： PCM（0 30 ページ）

お知らせ

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1 kHz/16 bit で記録されているのに対し、DVD では 48 kHz/16 bit ～ 192 kHz/24 bit で記録されているので、CD よりも高音質の再生が可能です。

また、この信号を圧縮し、2ch ステレオ再生できるようにしたものをパック PCM（P.PCM）といいます。

初期設定を変更する

お知らせ

- 30 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。
- 設定内容は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。

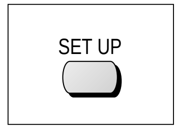
2・3・4



1

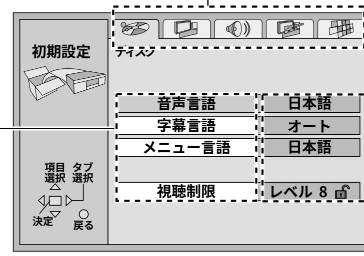
設定方法

1 リモコン



押す

初期設定画面が表示されます。

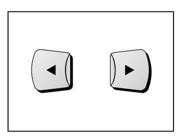


a **タブ（メニュー項目）**
ディスク、**映像**、**音声**、**画面表示**、**その他**で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の設定画面を呼び出します。

b **設定項目**
選択したタブ内の設定項目です。

c **設定内容**
設定項目の設定状態を表示します。

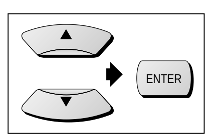
2



押して
設定したいタブを選ぶ



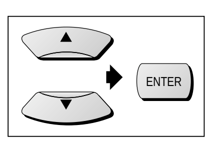
3



押して
設定項目を選ぶ

設定内容画面が表示されます。

4



押して
設定内容を選ぶ

手順 2 で選んだ画面に戻ります。

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]を押す

■ 設定を終了するには

[SET UP]を押す

 日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です

初期設定一覧表 （設定方法 0 29 ページ）

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク （0 31 ページ）	**音声言語** DVD-A DVD-V 言語（音声）が選べます。	● 日本語　● 英語 ● オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2
	字幕言語 DVD-A DVD-V 言語（字幕）が選べます。	● オート※3　● 日本語 ● 英語　● その他＊＊＊＊※2
	メニュー言語 DVD-A DVD-V メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● 英語 ● その他＊＊＊＊※2
	視聴制限 DVD-V 視聴が制限できます。（0 32 ページ）	● レベル 8 ● レベル 7 〜 1 ● レベル 0 ● ロック解除　● 暗証番号変更 ● レベル変更　● 一時解除
映像	**TV アスペクト** お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。（0 9 ページ）	● 4 ： 3 パン&スキャン ● 4 ： 3 レターボックス ● 16 ： 9
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。（0 31 ページ）	● オート　● フィールド　● フレーム
	S 端子出力 S1/S2 のモード 本体後面の S1、S1/S2 映像出力端子への接続に合わせて設定します。（0 31 ページ）	● S1　● S2
音声	**スピーカー設定** DVD-A DVD-V 接続したスピーカーシステムに合わせて設定します。スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を創ります。（0 33 ページ）	**● マルチチャンネル** スピーカーを 3 本以上接続するとき（スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、チャンネルバランスの設定も必要となります。0 33 ページ） **● 2 チャンネル** スピーカーを 2 本接続するときや、ドルビープロロジックデコーダーに接続するとき
	PCM ダウンサンプリング変換 DVD-A DVD-V 接続に応じて著作権保護処理のされていないディスクの音声信号の出力方法が選べます。（0 34 ページ）	● しない　● する
	Dolby Digital DVD-A DVD-V 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2ch）に処理して出力するかが選べます。（0 34 ページ）	● Bitstream ● PCM
	DTS Digital Surround DVD-A DVD-V 上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行えます。（0 34 ページ）	● PCM　● Bitstream
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-A DVD-V （ドルビーデジタルのみ） 小音量でも映画のセリフを聞き取りやすくします。	● 切　● 入
	早送り時の音声 DVD-A DVD-V VCD 早送りする時、音声が聞こえるようにする/しないが選べます。（0 31 ページ）	● あり　● なし
画面表示	**画面メニュー言語** 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● English（英語）
	画面メッセージ 操作時にテレビ画面にメッセージを表示する／しないが選べます。	● 入　● 切
その他	**DVD ビデオモード** DVD オーディオに含まれる DVD ビデオコンテンツを再生する／しないが選べます。（0 31 ページ）	● しない　● する
	デモモード 「する」を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。（デモは、リモコン・本体のどのボタンを押しても停止し、設定は「しない」に戻ります。）	● しない　● する

■ 音声言語/字幕言語/メニュー言語について

※ **1 “オリジナル”:** ディスクの最優先言語が選ばれます。
※ **2 “その他＊＊＊＊”：** 数字ボタンで言語番号を入力します。（下記参照）
※ **3 “オート”:** “音声言語”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスク内で決められている言語でしか再生できないものもあります。

■ スチルモードについて

オート ：フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える
フィールド：「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ
フレーム ：「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄が見えにくい時に選ぶ

お知らせ

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

■ 視聴制限について

レベル 8 ：すべての DVD ビデオが再生可。
レベル 7 〜 1：制限レベルが設定されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）は、レベルに応じて再生が不可。
レベル 0 ：すべての DVD ビデオの再生が不可。

お知らせ

- レベル 0 〜 7 のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。（０ 32 ページ）
- 制限レベルが記録されていない DVD ビデオの再生を制限するときは、“ レベル 0 ” を選んでください。

■ S 端子出力 S1/S2 のモードについて

S1: テレビの S または S1 映像入力端子に接続しているとき
S2: テレビの S2 映像入力端子に接続しているとき

■ 早送り時の音声について

DVD オーディオのディスクには、設定を「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

■ DVD ビデオモードについて

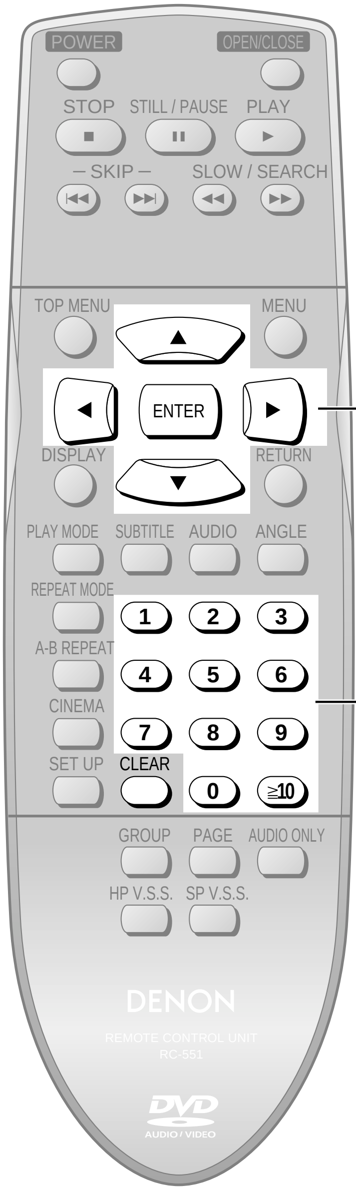
しない ： DVD オーディオをそのまま再生するとき
する ：DVD オーディオに含まれる DVD ビデオコンテンツを再生するとき

ディスクを取り出すか電源を切ると「しない」に戻ります。

言語番号一覧表

アイスランド	：7383
アイマラ	：6588
アイルランド	：7165
アゼルバイジャン	：6590
アッサム	：6583
アファル	：6565
アフリカーンス	：6570
アブハジア	：6566
アムハラ	：6577
アラビア	：6582
アルバニア	：8381
アルメニア	：7289
イタリア	：7384
イディッシュ	：7473
インターリングア	：7365
インドネシア	：7378
ウェールズ	：6789
ウォロフ	：8779
ヴォラピュック	：8679
ウクライナ	：8575
ウズベク	：8590
ウルドゥー	：8582
英語	：6978
エストニア	：6984
エスペラント	：6979
オーリヤ	：7982
オランダ	：7876
カザフ	：7575
カシミール	：7583
カタロニア	：6765
ガリチア	：7176
韓国（朝鮮）語	：7579
カンナダ	：7578
カンボジア	：7577
キルギス	：7589
ギリシャ	：6976
クルド	：7585
クロアチア	：7282
グアラニー	：7178
グジャラト	：7185
グリーンランド	：7576
グルジア	：7565
ケチュア	：8185
ゲール（スコットランド）	：7168
コーサ	：8872
コルシカ	：6779
サモア	：8377
サンスクリット	：8365
ショナ	：8378
シンド	：8368
シンハラ	：8373
ジャワ	：7487
スウェーデン	：8386
スロバキア	：8375
スロベニア	：8376
スワヒリ	：8387
スンダ	：8385
スペイン	：6983
ズールー	：9085
セルビア	：8382
セルボクロアチア	：8372
ソマリ	：8379
タイ	：8472
タタール	：8484
タミル	：8465
タガログ	：8476
タジク	：8471
チェコ	：6783
中国語	：9072
チベット	：6679
ティグリニア	：8473
テルグ	：8469
デンマーク	：6865
トウイ	：8487
トルクメン	：8475
トルコ	：8482
トンガ	：8479
ドイツ	：6869
ナウル	：7865
日本語	：7465
ネパール	：7869
ノルウェー	：7879
ハウサ	：7265
ハンガリー	：7285
バシキール	：6665
バスク	：6985
パシュト	：8083
パンジャブ	：8065
ヒンディー	：7273
ビハール	：6672
ビルマ	：7789
フィジー	：7074
フィンランド	：7073
フェロー	：7079
フランス	：7082
フリジア	：7089
ブータン	：6890
ブルガリア	：6671
ブルターニュ	：6682
ヘブライ	：7387
ベトナム	：8673
ベロルシア（白ロシア）	：6669
ベンガル（バングラ）	：6678
ペルシャ	：7065
ポーランド	：8076
ポルトガル	：8084
マオリ	：7773
マケドニア	：7775
マライ（マレー）	：7783
マラッタ	：7782
マラヤーラム	：7776
マルタ	：7784
マダガスカル	：7771
モルダビア	：7779
モンゴル	：7778
ヨルバ	：8979
ラオ	：7679
ラテン	：7665
ラトビア（レット）	：7686
リトアニア	：7684
リンガラ	：7678
ルーマニア	：8279
レトロマンス	：8277
ロシア	：8285

初期設定を変更する（つづき）



視聴制限（設定方法と内容 0 29～31 ページ）

DVD-V

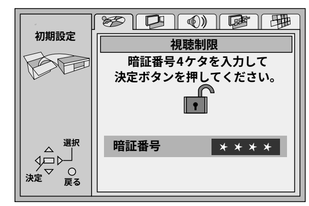
視聴制限レベルを設定する（レベル 8 のとき）

お子さまなどに見せたくない DVD ビデオがそのまま再生されないように設定できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
レベル 0 ～ 7 のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力する

- 間違った数字を入力したときは、**[CLEAR]** を押してください。

暗証番号は忘れないでください。



2 [ENTER] を押す

3 もう一度、**[ENTER]** を押す
暗証番号が確定し、ロックがかかります。

設定した視聴制限レベルを超えた DVD ビデオを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。

制限内容を変更する（レベル 0 ～ 7 のとき）

初期設定画面で " 視聴制限 " を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力し、**[ENTER]** を押す

ロック解除　：制限を解除してレベル 8 に戻す
暗証番号変更：暗証番号を変更する
レベル変更　：制限レベルを変更する
一時解除　　：一時的に制限レベルを解除する（電源を切るかディスクトレイを開けるまで一時解除の状態が続きます。）

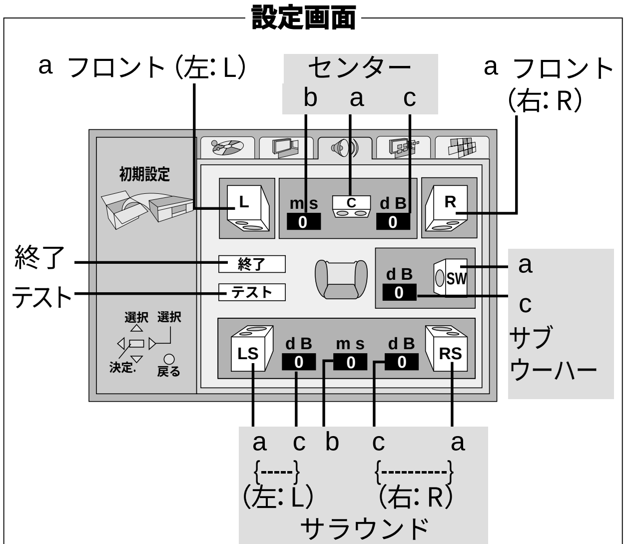
2 カーソルボタン [▲、▼] で項目を選び、**[ENTER]** を押す

スピーカー設定 （設定方法と内容 0 29～31ページ）

DVD-A **DVD-V**

初期設定で“マルチチャンネル”（スピーカーを3本以上接続）を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の a b c の設定が必要になります。[“2チャンネル”（スピーカーを2本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続）を選んだときは、設定の必要がありません。]

設定画面



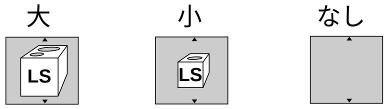
スピーカーの有無とサイズ（a）

1 カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］で項目を選び**[ENTER]**を押す

2 カーソルボタン［▲、▼］で内容を変更し、**[ENTER]**を押す

大：スピーカーが100 Hz以下を再生できるとき
小：スピーカーが100 Hz以下を再生できないとき

- **工場出荷時のスピーカーサイズ**
  フロント（L/R）：大
  センター／サラウンド（L/R）：大
  サブウーハー：あり
- **サラウンド（L）の場合の表示例**

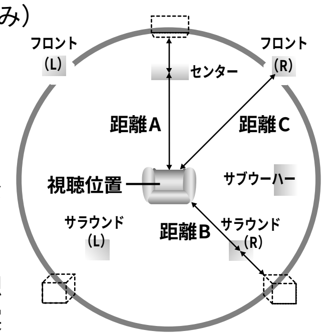


ディレイタイム（b）

DVD-V

（ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオのセンター／サラウンドチャンネルのみ）

5.1ch音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を右記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現することができます。



1 カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］で項目を選び**[ENTER]**を押す

2 カーソルボタン［▲、▼］で内容を変更し、**[ENTER]**を押す

- **設定値**
  距離Aまたは、距離B ≧ 距離C：0 ms
  距離Aまたは、距離B ＜ 距離C：下記の設定を行う

＜センター＞

距離の差	設定値
約50 cm	1.3 ms
約100 cm	2.6 ms
約150 cm	3.9 ms
約200 cm	5.3 ms

＜サラウンド＞

距離の差	設定値
約200 cm	5.3 ms
約400 cm	10.6 ms
約600 cm	15.9 ms

チャンネルバランス（c）

各スピーカーの音量レベルが異なるとき調節します。

1 カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］で“テスト”を選び**[ENTER]**を押す

「ザー」というテスト音が以下の順でスピーカーから出力されます。

フロント（L）"）**センター** "）**フロント（R）**
:　;
サラウンド（L）! " " " " " " " **サラウンド（R）**

2 フロントと同じ音量で聞こえるように、センター/サラウンドスピーカー(L/R）の音量を**カーソルボタン［▲、▼］**で調節する（－6 dB～＋6 dB）
- フロントスピーカーの音量調節はできません。

3 [ENTER]を押す（テスト音が止まります。）
- サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

■ 設定を終了するには

カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］で“終了”を選び**[ENTER]**を押す

お知らせ

- フロントスピーカーのスピーカーサイズはサブウーハーの設定で自動的に決まります。（サブウーハーを接続しない場合、100 Hz以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします。）
- DVDオーディオ再生時、ディスクやプレーヤー側の制約により設定通りに音が出ないことがあります。（本体表示窓で“P.PCM”が点灯、または“D.MIX”が消灯状態になります。）

デジタル出力の設定 （設定方法と内容 0 29～31ページ）

DVD-A DVD-V

本体のデジタル音声出力端子（光）と接続するときに設定します。

PCMダウンサンプリング変換

接続した機器に合わせて、著作権保護処理のされていないディスクの高音質信号（サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHz）の出力方法を選びます。

接続機器（88.2 kHz以上の信号への対応）	設定	音声出力
対応している	しない※	そのまま出力
対応していない	する	48 kHzまたは44.1 kHzにダウンして出力

※ 接続機器が88.2 kHz以上の信号に対応していない場合、“しない”に設定すると、88.2 kHz以上の音声は出力されません。

Dolby Digital

- **Bitstream（工場出荷時）**
  ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続したとき
- **PCM**
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続したとき

DTS Digital Surround

- **PCM（工場出荷時）**
  DTSデコーダーを内蔵しない機器と接続したとき
- **Bitstream**
  DTSデコーダー内蔵の機器と接続したとき

お知らせ

- サンプリング周波数96 kHz対応の機種でも88.2 kHzには対応していないものがあります。機器に付属の説明書などもご覧ください。
- 176.4 kHz以上の信号や、著作権保護処理がされているディスクの高音質信号は、上記の設定に関係なく、48 kHzまたは44.1 kHzにダウンして出力されます。

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”を“PCM”に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

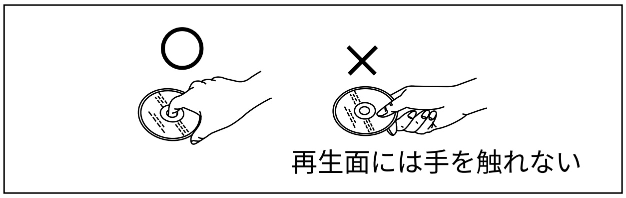
本商品の一部はDesper Products, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。

使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

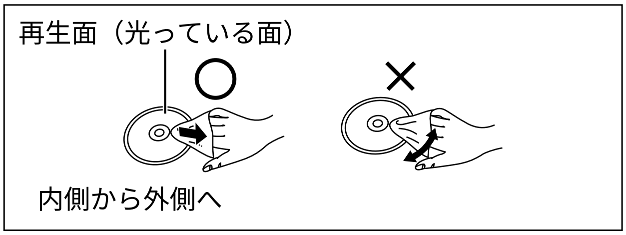
■ 持ちかた



■ 汚れたときは

● DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



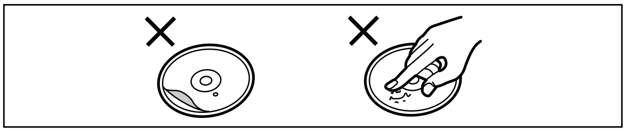
■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。



- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

お手入れ

柔らかい布でふいてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

- 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置について	**ドルビーデジタルや DTS の 5.1ch サラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か**	本機にはドルビーデジタル／ DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーを準備すれば、5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	27
	スピーカーを直接つなげるか	本機には直接接続できません。AV アンプなどを通して接続してください。	27、28
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	8
	S 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ入力端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S 映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。	8
	D 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子では、どちらが良いのか	DVD の再生という点では両者の性能に差はありません。	8
	LD と接続できるか	本機とは接続できません。	―
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	―
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	―
使いかたについて	**海外で買った DVD ビデオは再生できるか**	リージョン番号が **「ALL」** もしくは **「2」** を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
	海外で買ったビデオ CD は再生できるか	映像方式が NTSC であれば再生できます。	6
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD ビデオ以外のディスクにはリージョン番号はありません。DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	―
	CD-G は再生できるか	再生できません。	―
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD オーディオ／ビデオディスクはコピー禁止処理がされており、録画できません。	―
機能について	**デジタル録音できるか**	192 kHz や 96 kHz の信号はそのままではデジタル録音できませんが、48 kHz に変換することで行えるようになります。ただし、デジタル録音が禁止されているものもあります。	28
	テレビやビデオなどに比べて音が小さいが	DVD の音声は、テレビの音声などに比べて小さな音量で収録されています。	11

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源について	**電源が入らない**	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	8
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。**（オートパワーオフ）** 再度電源を入れ直してください。	11
操作について	**各ボタン操作ができない**	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を「切」「入」してみるか、電源コードをコンセントから抜き差ししてみてください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
	[▶]（PLAY）を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	35
		ディスクを正しくセットしてください。	10
	音声／字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	11
	字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	—
		字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	21
		A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	19 24
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—
	CINEMA VOICE MODEがはたらかない	Bitstreamで信号を出力中は、はたらきません。	—
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた **すべての設定を、工場出荷時に戻したい**	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 **1** 停止中、本体の**[❚❚]（STILL/PAUSE）**（スティル/ポーズ）と**[⏮]**を押しながら、**[⏏ OPEN/CLOSE]**（オープン/クローズ）を押す（テレビ画面の“オールクリア”表示が消えるまで3つのボタンを押し続けます。） **2** 本体の電源を一度**「切」「入」**する	—

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声について	**音が出ない（または音がおかしい）**	接続した機器の音量を確認してください。	—
		接続、設定を確認してください。	8、27、28 33、34
		接続した機器の入力切換を確認してください。	—
		音声がひずむ場合は、スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.を「切」にしてください。	18
		アナログ接続で 3 本以上のスピーカーをつないでいるときは、スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.を「切」にしてください。	18
		オーディオオンリー機能が動作中は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	20
		マルチチャンネルの DVD オーディオディスク再生時に、本体表示窓の“ D. MIX ”表示が消灯するときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。ディスクのジャケットなどもご覧ください。	40
	耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定で、接続した機器に応じて“ Dolby Digital ”や“ DTS Digital Surround ”を正しく設定してください。	34
映像について	**早送り／早戻しをしたら画像が乱れる**	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	オーディオオンリーを解除したとき一瞬画面が揺れる		
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	8
		テレビの電源が入っているか確認してください。	—
		テレビの入力切換を確認してください。	—
		初期設定「映像」の“ TV アスペクト ”は正しく設定されていますか？	9
		テレビ側の画面モードを変更してください。	—
		プログレッシブ再生時にテレビ側で映像の横縦比を変更できない場合は、[PROGRESSIVE SCAN]を押し、プログレッシブ出力ランプを消灯させてください。インターレース出力となり、本来の 4 ： 3 サイズで表示されます。	9
		テレビ画面に“ PAL 方式のディスクです。音声のみ出力します。”が出ている場合は、PAL 方式の DVD オーディオディスクが入っています。（音声のみ再生可能です。）	—
		プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。本機のプログレッシブ出力を「切」にしてください。プログレッシブ出力時には、本機の「映像出力端子」と「S1 映像出力端子」からは映像が出力されません。	10
	プログレッシブ出力（525p）時、映像の一部が二重にぶれて見える	プログレッシブ出力を「切」にしてください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力（525i）では問題なく再生できます。	10
	画質がよくない	GUI の映像設定で画質を調節してください。	25

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
表示について		
画面メッセージが出ない	初期設定「画面表示」の“画面メッセージ”を「入」にしてください。	30
GUI画面が欠ける（または表示されない）	GUI画面表示中、カーソルボタン［◀、▶］で右端の上下矢印アイコンを選び、［▲、▼］で位置を変えてください。	22
画面に残像が多く残る	GUI画面の「ユーザー画質（U）」で画質を調節してください。	25
表示窓に“NO PLAY”と表示する	再生できないディスクが入っています。	7
画面に“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクがよごれています。	35
表示窓に“ERROR”が表示される	規格違反のトラックを再生しています。正常に再生できません。	—
表示窓に“H□□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。（“**H**”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してみるか、電源コードをコンセントから抜き差ししてみてください。	—
表示窓に“NO DISC”と表示する	ディスクが入っていません。	—
	ディスクが正しく入っていません。	—

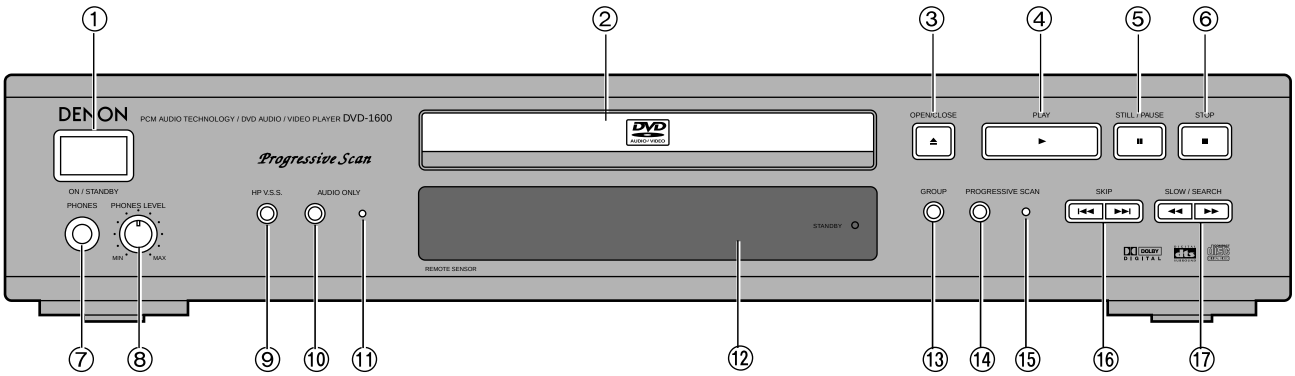
■ 処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。（例：**「H01」**）

各部のなまえとはたらき

【　】内は参照ページを表しています。

本体



① **[ON/STANBY]（電源）ボタン**【10】
電源を「入」「切」する

② **ディスクトレイ**【10】

③ **[▲、OPEN/CLOSE]（開／閉）ボタン**【10】

④ **[▶、PLAY]（再生）ボタン**【10】

⑤ **[❚❚、STILL/PAUSE]（一時停止）ボタン**【11】

⑥ **[■、STOP]（停止）ボタン**【11】

⑦ **[PHONES]（ヘッドホン端子）**【10】

⑧ **[PHONES LEVEL]（ヘッドホンレベル調整）つまみ**【10】
ヘッドホンの音量を調節する

⑨ **[HP V.S.S.]（ヘッドホン V.S.S）ボタン**【18】
ヘッドホン V.S.S.（HP V.S.S.）を「入」「切」したり、レベルを変えたりする

⑩ **[AUDIO ONLY]ボタン**【20】
映像信号の出力を停止し、音声信号のみ出力する

⑪ **AUDIO ONLY ランプ**
オーディオオンリー機能が働いているとき点灯

⑫ **表示窓**（下記）

⑬ **[GROUP]ボタン**【15】
DVD オーディオのグループを選択する

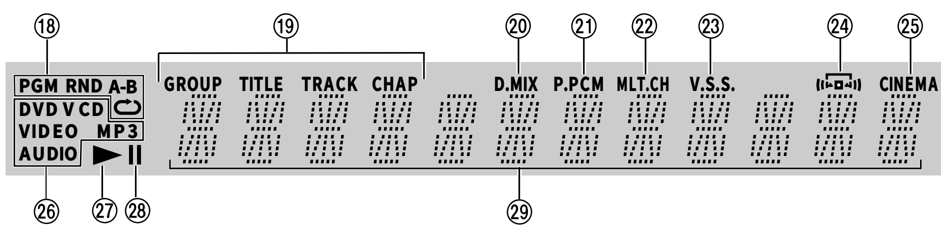
⑭ **[PROGRESSIVE SCAN](プログレッシブ出力選択)ボタン**【10】
接続するテレビに応じて、プログレッシブ出力（525p）するかインターレース出力（525i）するか選ぶ

⑮ **プログレッシブ出力ランプ**
プログレッシブ出力が選ばれているとき点灯する

⑯ **[⏮、⏭、SKIP]（スキップ）ボタン**【13】
映画や音楽を頭出しする

⑰ **[◀◀、▶▶、SLOW/SEARCH]ボタン**【13】
映画や音楽を早送り／早戻しする

表示窓



⑱ **再生状態表示**
PGM：プログラム再生／ **RND**：ランダム再生
１ ：リピート再生／ **A-B** １：A-B リピート再生

⑲ **メイン表示部の表示モード**
GROUP：グループ表示モード／ **TITLE**：タイトル表示モード
TRACK：トラック表示モード／ **CHAP**：チャプター表示モード

⑳ **D.MIX (Down Mix)表示**
音声信号がダウンミックス（マルチチャンネル信号を 2ch に集約）可能なとき点灯

㉑ **P.PCM (Packed PCM)表示**
P.PCM 信号が入ると点灯

㉒ **MLT.CH (Multi Channel)表示**
マルチチャンネル信号が出力されているとき点灯

㉓ **バーチャルサラウンドサウンド（V.S.S.）表示**
スピーカー V.S.S.(SP V.S.S.)またはヘッドホン V.S.S.(HP V.S.S.)が「入」のとき点灯

㉔ **CINEMA VOICE MODE 表示**
CINEMA VOICE MODE が「入」のとき点灯

㉕ **CINEMA 表示**
画質モードがシネマのとき点灯

㉖ **ディスク表示**
DVD AUDIO：DVD オーディオ
DVD VIDEO：DVD ビデオ
VCD：ビデオ CD
CD：音楽 CD
MP3

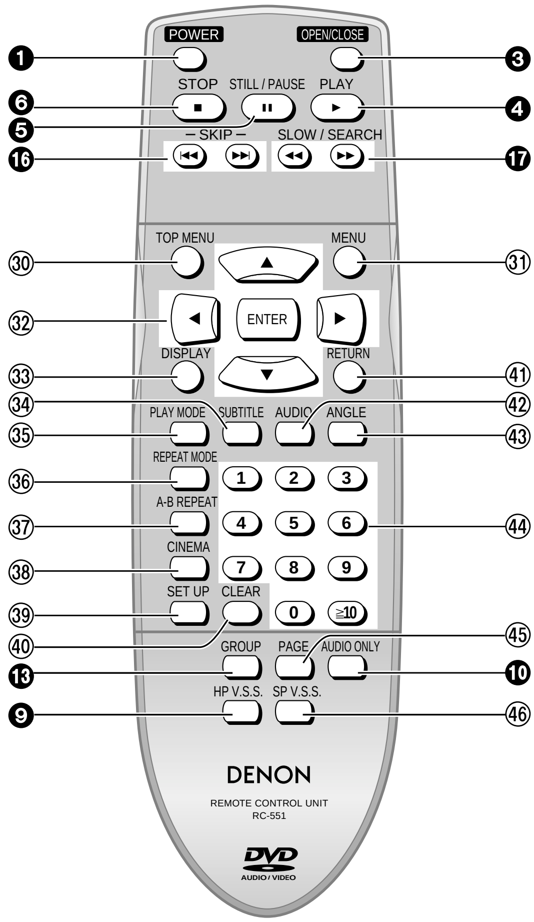
㉗ **再生表示**
再生中に点灯。続き再生メモリー機能が働いているとき点滅

㉘ **静止（一時停止）表示**

㉙ **メイン表示部**
再生経過時間やトラック番号、各種メッセージなどを表示

リモコン

❶ や ❸ などのボタンは本体の ① や ③ のボタンと同じ働きをします。



㉚ **[TOP MENU]ボタン**【11】
ディスクメニューを表示する

㉛ **[MENU]ボタン**【11】
ディスクメニューを表示する

㉜ **カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]／[ENTER]（決定）ボタン**【9】

㉝ **[DISPLAY]（画面表示）ボタン**【22】
GUI 画面を表示する

㉞ **[SUBTITLE]（字幕）ボタン**【21】
DVD の字幕言語を切り換える

㉟ **[PLAY MODE]（再生モード）ボタン**【16】
「通常再生」「オールグループ再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える

㊱ **[REPEAT MODE]（リピートモード）ボタン**【19】
繰り返し再生する

㊲ **[A-B REPEAT]（A-B リピート）ボタン**【19】
指定した 2 点間を繰り返し再生する

㊳ **[CINEMA]（シネマ）ボタン**【20】
映画鑑賞向けの画質に切り換える

㊴ **[SET UP]（初期設定）ボタン**【9】
初期設定画面を表示する

㊵ **[CLEAR]（取消し）ボタン**【17】
入力した数字を取り消す

㊶ **[RETURN]（リターン）ボタン**【9】
メニューを一つ手前に戻す

㊷ **[AUDIO]（音声）ボタン**【21】
DVD の音声言語を切り換える

㊸ **[ANGLE]（アングル）ボタン**【21】
マルチアングルが記録されている DVD で、角度を切り換える

㊹ **数字ボタン**【11】
数字を入力する

㊺ **[PAGE]（ページ）ボタン**【14】
DVD オーディオの静止画を選択する

㊻ **[SP V.S.S.]（スピーカー V.S.S.）ボタン**【18】
スピーカー V.S.S.（SP V.S.S.）を「入」「切」したり、レベルを変えたりする

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（デノンサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）
その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

主な仕様

電源	AC 100 V　50／60 Hz
消費電力	11 W (電源「スタンバイ」時 約 2 W)

外形寸法	434 (幅)× 252 (奥行)× 82 (高さ) mm 突起物を含む
質量	約 2.9 kg
許容周囲温度	+5 ～ 35 ℃
許容相対湿度	5 ～ 90 % RH（結露なきこと）
再生可能ディスク (8 cm、12 cm)	■ DVD-Video　■ DVD-Audio ■ DVD-R(DVD-Video compatible) ■ CD-DA　■ ビデオ CD ■ CD-R/RW （CD-DA、ビデオ CD フォーマットのディスク） ■ MP3 ●再生可能な最大チャプター数：999 チャプター ●再生可能な最大タイトル数：511 タイトル ●ビットレート：32 kbps～320 kbps
信号形式	NTSC
映像出力	出力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
	出力端子：ピンジャック
	端子数：2 系統
S 映像出力	Y 出力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
	C 出力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子：S 端子
	端子数：2 系統
D1/D2 映像出力	Y 出力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
	P_B/C_B 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω）
	P_R/C_R 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω）
	出力端子：D 端子
	端子数：1 系統

音声出力	出力レベル：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
	出力端子：ピンジャック
	端子数： 2ch：1 系統 5.1ch ディスクリート出力（5.1ch）：1 系統
音声出力特性	**周波数特性** ● DVD（リニア音声） 4 Hz～22 kHz（48 kHz サンプリング） 4 Hz～44 kHz（96 kHz サンプリング） ● DVD-Audio 4 Hz～88 kHz（192 kHz サンプリング） ● CD　4 Hz～20 kHz（JEITA） **S／N 比** ● CD　115 dB（JEITA） **ダイナミックレンジ** ● DVD（リニア音声）　102 dB ● CD　98 dB（JEITA） **全高調波歪率** ● CD　0.0025 %（JEITA）
デジタル音声出力	光デジタル出力：光コネクター
ヘッドホン出力	ステレオ標準ジャック

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です



音のエチケット
シンボルマーク

株式会社デノン

本　社　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11
TEL：（03）3837-5321（代表）

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in Japan　RQT6178-S